10-World Champion YOKOMO



DRIFT PACKAGE

YOKOMO

DRIFT PACKAGE MR-4TC SD CM

2004.6.21

この度はヨコモ製R/Cカーキットをお買い求め頂き、誠に有り難うございます。このキットは、ワールドチャンピオン メーカーであるヨコモの高性能・競技用R/Cカーです。本説明書に従った正しい組立・安全な走行をして頂ければ、誠でも手軽に楽しむことが出来ます。

R/C カーを安全に楽しんで頂くための 注意事項

お子様（中学生以下）が 組立・走行する際は、必ず保護者の方が付き添い 安全を確認して下さい。

■ 組立の注意 ■

- 幼児のいる場所では組み立てないで下さい。小さな部品を飲み込む等、非常に危険です。
- 組立の前に必ず内容をお確かめ下さい。万一不良部品、不足部品などがあった場合は、ヨコモ アフターサビス部までお問い合わせ下さい。
- 組立の前に説明書を最後まで読み、全体の流れをつかむと効率的な組立が出来ます。
- 組み立てる際は、様々な工具が必要になります。安全の為に必ず作業内容に合った工具を使用して下さい。又、カッターナイフ等を使用する際は危険を伴いますので、注意して下さい。
- 部品には様々な素材を使用しています。切削加工された金属パーツ等はエッジが鋭く、慎重な組立が必要となります。ケガをしないように注意して下さい。
- プラスティックパーツなどを切断する際は、切断した部品が飛ぶ危険があるので注意して下さい。
- 回転部や駆動部は出来るだけスムーズに動作するように組み立てて下さい。
- 配線やコード類はきれいにまとめて下さい。回転部分や走行路面にコードが接触すると危険です。又、配線は確実に接続されていないとショートなどの恐れや、性能を十分に発揮出来ない場合があります。
- 必要以上の分解、改造をすると、安全性が低下したり走行性能が十分に発揮出来なくなる場合があります。
- 塗装は、周囲に火気の無いことを確認し、換気の良い場所で行って下さい。

■ 走行の注意 ■

- ヨコモ製R/Cカーは競技用の為、時速40kmを越える速いスピードが出るモデルもあります。ルールを守って安全な場所や、R/Cカー用サーキットで走らせて下さい。
- 公道等、周囲の人の迷惑になるような場所では絶対に走らせないで下さい。
- R/Cカーは電波を利用する為、何らかのトラブルで最悪の場合は暴走する事があります。狭い場所や室内は避け、出来るだけ広い、障害物のない場所で走らせて下さい。
- 周囲にR/Cカーを走らせている人がいる場合は、電波が重ならないように、周波数を確認し合って、安全を確かめて下さい。
- R/Cカーは水を嫌います。雨の日や、水たまりのある場所で走らせると、R/Cメカが壊れたり、暴走する危険があります。
- R/Cカーの駆動部分、ギヤやベルト、タイヤなどは高回転で回ります。バッテリーを接続した後は危険ですので、回転部分に手を触れないで下さい。
- 走行後のR/Cカーは各部が高温になる事があります。危険ですので冷却期間をおいてから、メンテナンスなどをして下さい

■ 走らせる手順 ■

① タイヤが空転するように、台の上にR/Cカーを置きます。
② スピードコントローラのスイッチがOFFになっている事を確認してから、モーターとバッテリーを接続します。
③ 送信機のアンテナを伸ばし、スイッチをONにします。（送信機の電圧が下がっていると危険です。常に電圧の高い状態で使用して下さい。）
④ 受信機のスイッチをONにします。

■ 走行終了手順 ■

① スピードコントローラのスイッチをOFFにします。
② バッテリーの接続を外します。
③ 送信機のスイッチをOFFにし、アンテナを縮めます。

■ バッテリーの取り扱い ■

（バッテリーに付属の説明書に基づき使用して下さい。）

- バッテリーを充電する際は、周囲に燃えやすい物のない安全な場所で行って下さい。又、高温な場所での充電も避けて下さい。
- バッテリーの充電中は充電状況を常に確認して下さい。充電器の誤動作などで過充電すると、最悪の場合は発火する危険性があります。バッテリー温度が50度を越えたら充電を中止して下さい。
- 走行後のバッテリーは高い温度になります。連続使用するとバッテリーを傷める事になりますので、冷却期間を置いてから充電して下さい。又、走行後のバッテリーはコンディション放電する事によって、性能を持続させる事が出来ます。
- 不要になったバッテリーは一般のゴミと一緒に捨てずに、お手数でも電池専用の回収箱に捨てて下さい。

■ モーターの取り扱い ■

（モーターに付属の説明書に基づき使用して下さい。）

- 7.2Vのバッテリーでモーターのから回しをすると危険です。モーター内部を破損し部品が飛び出す事も考えられますので、もしモーターのブレークインをする時は、モーターをしっかり固定し3～5V程度でから回しして下さい。
- モーターは定期的なメンテナンスが必要です。劣化するとスピードが出なくなったり、走行時間が短くなります。定期的にクリーニングしたり、ブラシが減ってきたら交換する等のメンテナンスをして下さい。
- モーターの性能に合ったギヤ比を選択して下さい。ギヤ比が最適でないとモーターの性能を十分に発揮出来ないだけでなく、他のR/Cメカを壊す原因にもなります。
- 走行後のモーターは非常に高い温度になります。連続走行するとモーターを傷める事になりますので、冷却期間を置いてから走行してして下さい。

【組み立てに必要な物】
ACCESSORIES AND TOOLS NEEDED FOR [MR-4TC SD CM] ASSEMBLY

■ 走行の為に別にお買い求め頂く物 ■
ADDITIONAL ITEMS REQUIRED FOR USE (NOT INCLUDED IN KIT)

- ２チャンネルプロポ（１サーボ １アンプ仕様）
  TWO CHANNEL R/C SURFACE RADIO SYSTEM AND ELECTRONIC SPEED CONTROL
- 走行用７.２Ｖ バッテリーパック
  7.2V BATTERY PACK
- 走行用バッテリー充電器
  BATTERY CHARGER
- 走行用モーター
  MOTOR
- タイヤ(タイヤ付キットは不要）
  TIRES
- 走行用ボディー(ボディー付キットは不要）
  BODY
- ボディー塗装用カラー
  BODY SPRAY PAINT

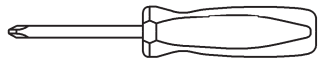
■ 袋以外の箱に入っている物 ■
PARTS INCLUDED IN KIT

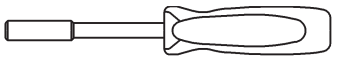
- バンパー — BUMPER
- ホイール — WHEELS
- タイヤ — TIRES
- メインシャーシ — MAIN CHASSIS

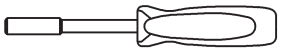
[ＭＲ－４ＴＣ ＳＤ ＣＭ]の性能を十分に発揮させる為にイラストを良く参照し説明の順番に従って確実に組み上げて下さい。

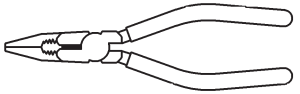
For assembly, follow the figures and the instructions closely so that your [MR-4TC SD CM] will perform at its best!!

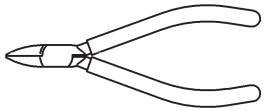
■ 別途用意する工具 ■
ASSEMBLING TOOLS REQUIRED (NOT INCLUDED IN KIT)

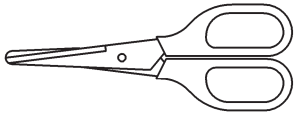

ドライバー（大,小）
SCREW DRIVER(SMALL & LARGE)

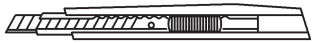

ボックスレンチ（７.０mm）
NUT DRIVER (7.0mm)

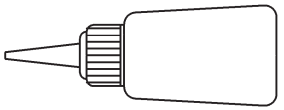

ボックスレンチ（５.５mm）
NUT DRIVER (5.5mm)


ラジオペンチ
NEEDLE NOSE PLIERS

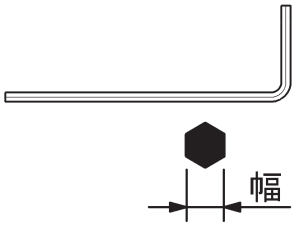

ニッパー
SIDE CUTTER


ハサミ
SCISSORS


カッター
HOBBY KNIFE


瞬間接着剤
QUICK DRYING GLUE

■ キットに入っている工具 ■
TOOLS (INCLUDED)



六角レンチ
ALLEN WRENCH
（２.０mm）
（１.５mm）

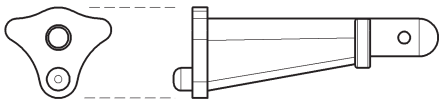
【 袋ー① の内容 】

--×8　M３×８ 皿ビス

--×1　M３×１０ 皿ビス

--×2　M３×１５ 皿ビス

--×2　ベルクランクポスト



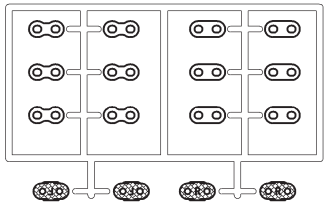
--×1　バッテリーマウント



--×2　フロントサスマウント



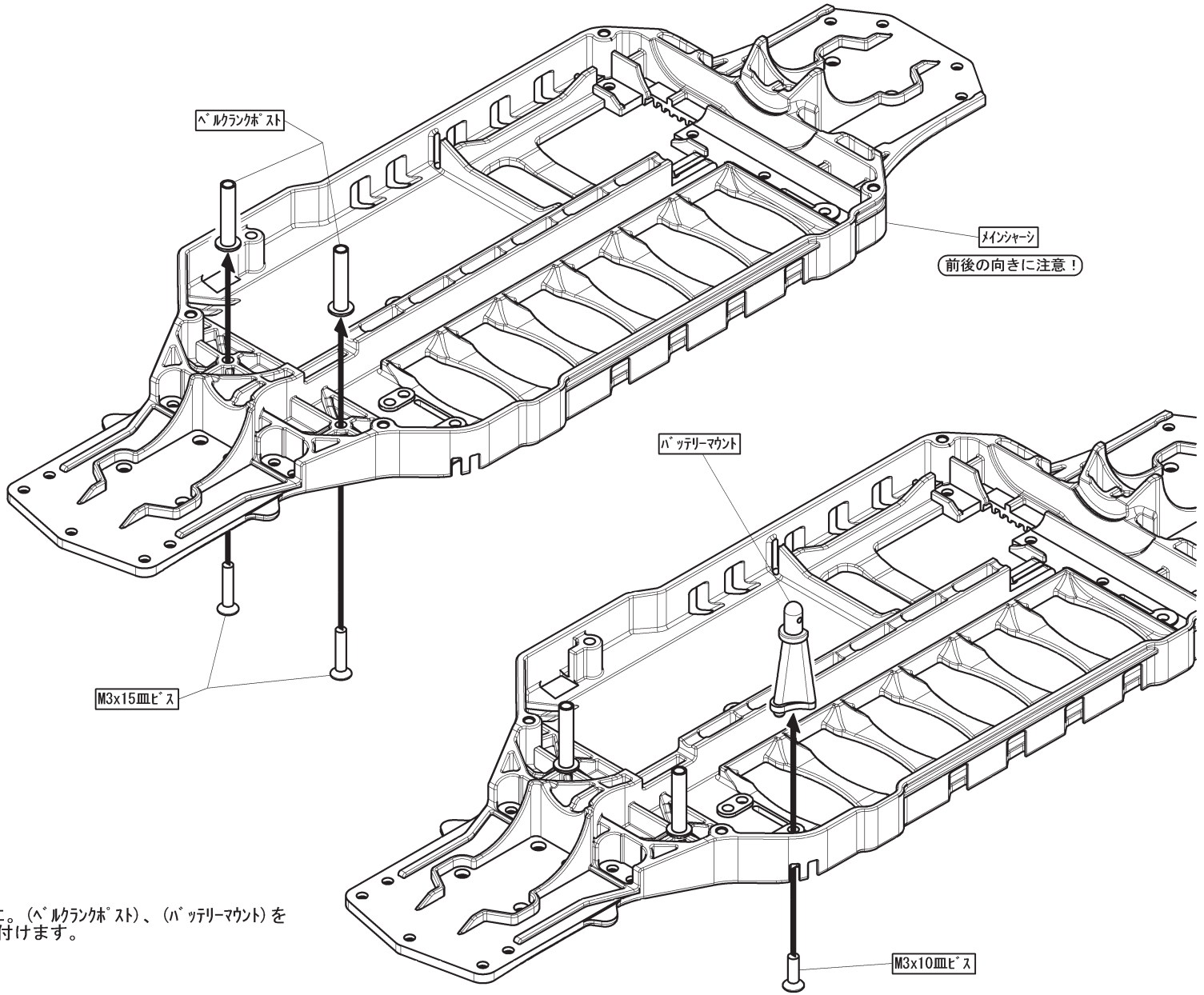
--×2　リアサスマウント



▨部の部品を使用します。

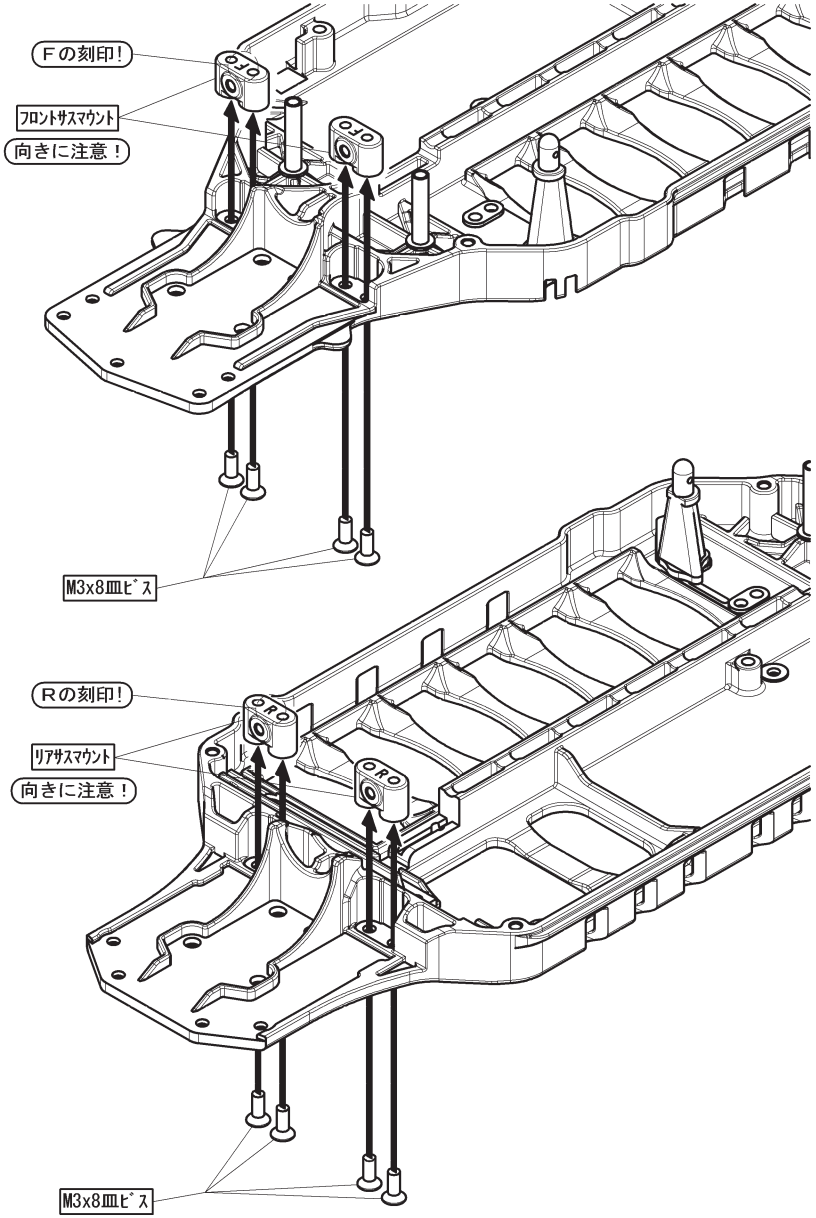
２種類のスペーサーは以下の様になります。
こばん型 ＝ 高さ調整用 １mm厚（１枚）
ひょうたん型 ＝ スキッド角調整用 １度（１枚）

1 ベルクランクポスト、バッテリーマウントの取付



イラストのように。（ﾍﾞﾙｸﾗﾝｸﾎﾟｽﾄ）、（ﾊﾞｯﾃﾘｰﾏｳﾝﾄ）を
指定のビスで取付けます。

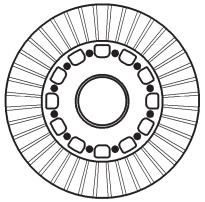
2 前後サスマウントの取付け

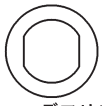


注意！－(フロント＆リアサスマウント)には向きがありますので、取付には注意して下さい。

【 袋ー② の内容 】

[ボールデフ用パーツ]


--×2　リングギヤ


--×4　デフリング

--×24　デフボール

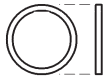

--×4　スラストワッシャー

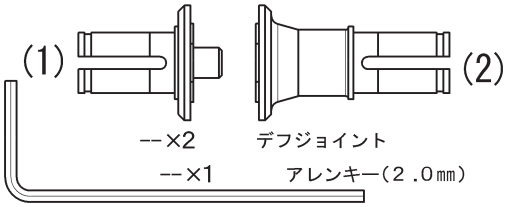

--×16　スラストボール


--×2　キャップスクリュー


--×2　M2.6 ﾅｲﾛﾝﾅｯﾄ

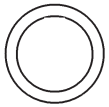

--×2　デフスプリング


--×4　ﾃﾞﾌｼﾞｮｲﾝﾄﾘﾝｸﾞ



--×2　デフジョイント
--×1　アレンキー(２.０㎜)

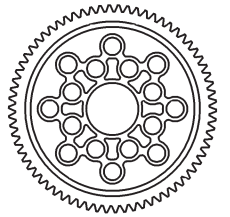
本キットの前後ボールデフは組立済ですが、多少の調整を必要とする場合があります。次ページの〔ボールデフの組立て〕を必ずお読みいただき、ボールデフのしくみを理解しておいて下さい。なお、メンテナンスなどで分解、交換時には、上記パーツ以外に〔デフルーブ CS－SDL ●430〕と〔ブラックグリス CS－SBG ●430〕が必要になります。
(ボールデフの動きが悪くなると走行性能に影響が出ますので、定期的なメンテナンスをお勧めします。)

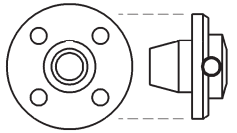

--×4　１０×１３シム

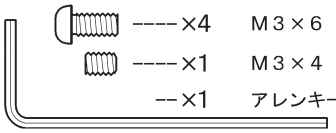

--×4　５×８メタル


--×4　１０×１５ベアリング

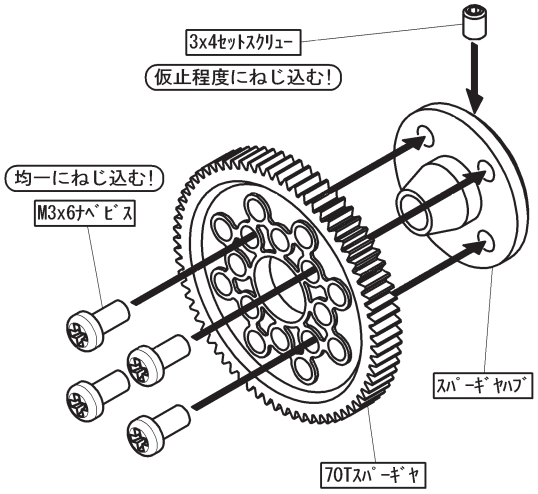
[スパーギヤ用パーツ]


--×1　７０Ｔ スパーギヤ


--×1　スパーギヤ ハブ


----×4　Ｍ３×６ ナベビス
----×1　Ｍ３×４ セットスクリュー
--×1　アレンキー(１.５㎜)

3 スパーギヤの組立て

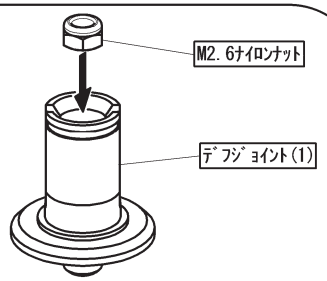


注意！－(70Tｽﾊﾟｰｷﾞﾔ)に(ｽﾊﾟｰｷﾞﾔﾊﾌﾞ)を取付ける際、互いのネジ穴同士が合っている事を確認し、(M3x6ﾅﾍﾞﾋﾞｽ)４本を均等に少しづつ、まんべんなくしめ付けて下さい。

4 ボールデフの組立て（２セット作ります。）

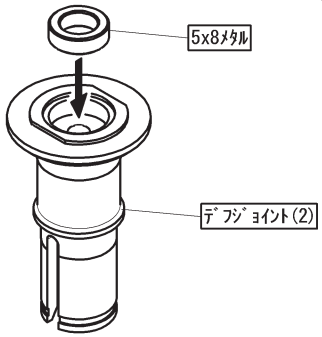
※ボールデフの組立てを始める前に、必ず注意をお読み下さい。

1



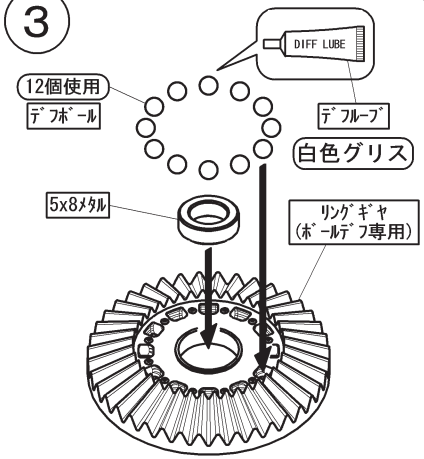
・(M2.6ﾅｲﾛﾝﾅｯﾄ)は(ﾃﾞﾌｼﾞｮｲﾝﾄ)の六角部分にしっかりと押込んで下さい。
（(M2.6ﾅｲﾛﾝﾅｯﾄ)の向きはﾅｲﾛﾝ側を外側(ｼﾞｮｲﾝﾄ側)に向けて下さい。）

2

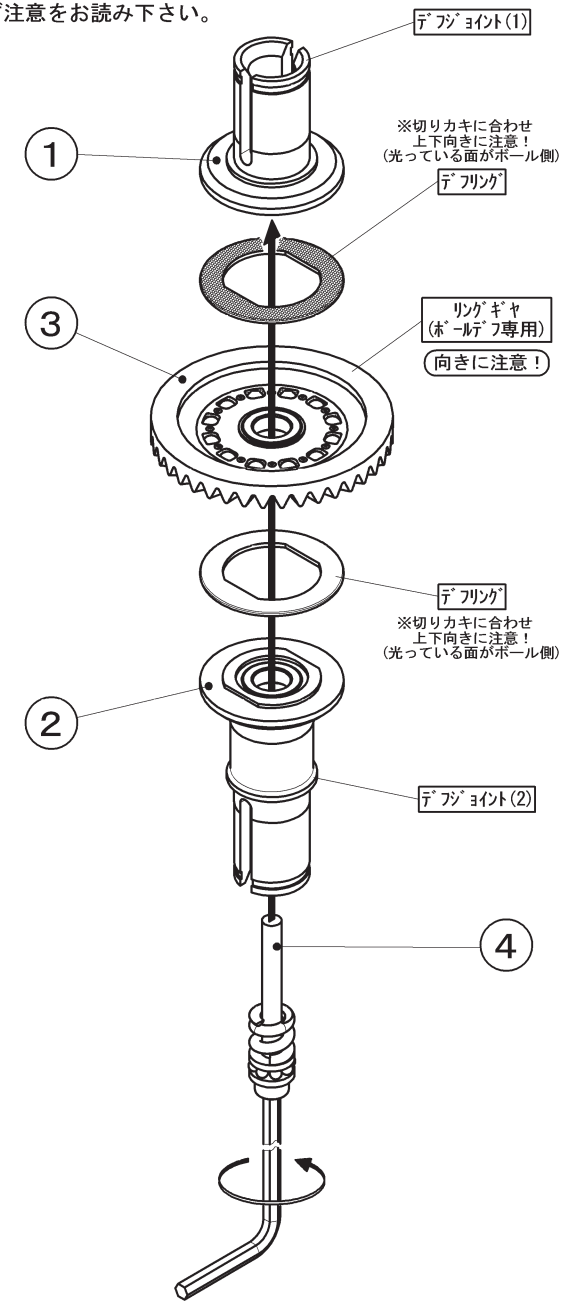


・(5x8ﾒﾀﾙ)は垂直に押込んで下さい。

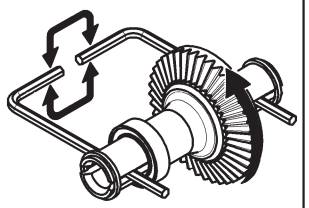
3



・(5x8ﾍﾞｱﾘﾝｸﾞ)は垂直に押込んで下さい。
・(ﾃﾞﾌﾎﾞｰﾙ)には必ず(ﾃﾞﾌﾙｰﾌﾞ)を多めに塗って下さい。

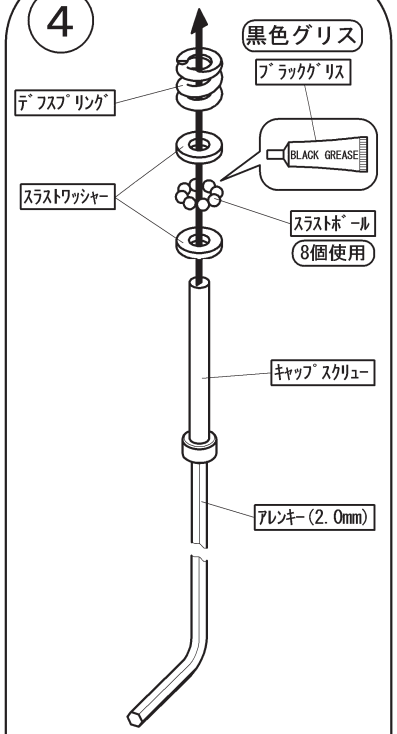


A



・しっかりとレンチをつかみ、リングギヤを回す。

4



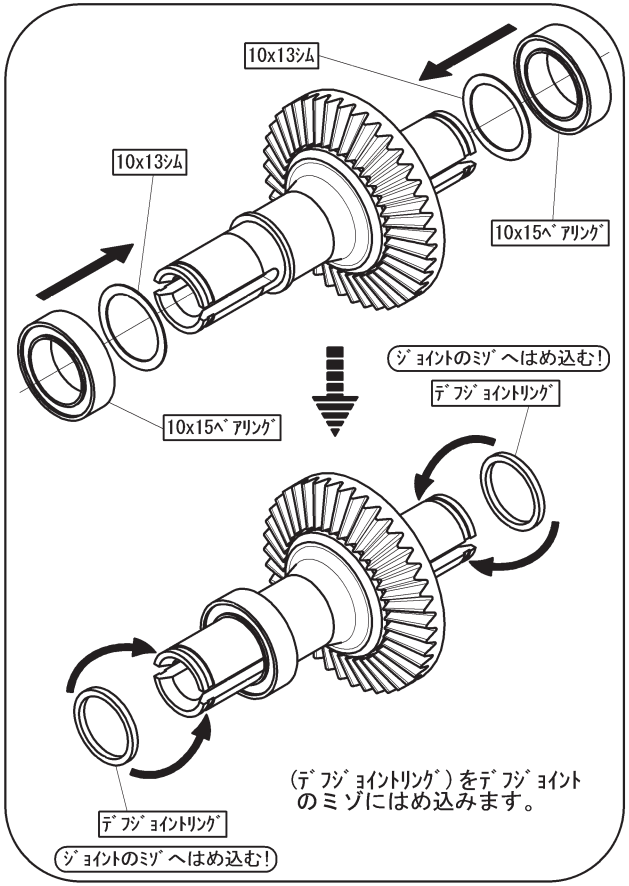
・図を良く参照して、組立てる順番にご注意下さい。
・(ｽﾗｽﾄﾎﾞｰﾙ)には必ず(ﾌﾞﾗｯｸｸﾞﾘｽ)を塗って下さい。

注意！①(ﾃﾞﾌﾘﾝｸﾞ)、(ﾃﾞﾌﾎﾞｰﾙ)にはサビ止め用のオイルが付いいます。そのまま組立てるとスベリの原因になりますので、クリーナー又はシンナーなどで脱脂を行うと、よりスムーズな差動を得る事ができます。

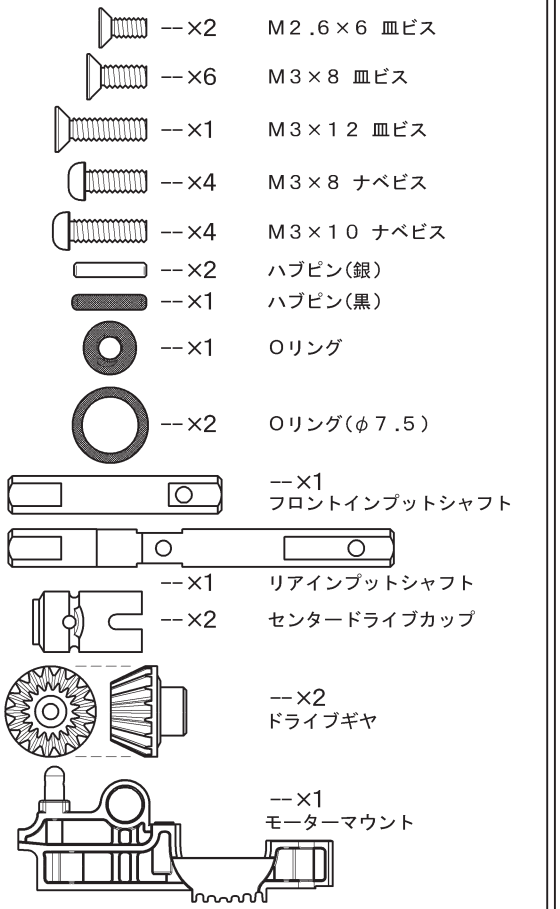
②(ﾃﾞﾌﾘﾝｸﾞ)には上下の向きがあります。必ず曇りがある面をデフジョイント側、光っている面をボール側に向けて組立てを行って下さい。

③(ﾃﾞﾌﾎﾞｰﾙ)には(ﾃﾞﾌﾙｰﾌﾞ)を、(ｽﾗｽﾄﾎﾞｰﾙ)には(ﾌﾞﾗｯｸｸﾞﾘｽ)を必ず充填して下さい。

④(ｷｬｯﾌﾟｽｸﾘｭｰ)を締込む目安は、図（Ａ）の様に両方のジョイントにアレンキーを差込み、手でしっかりと固定した状態でリングギヤが回らないポイントまで少しずつ締め込む様にして下さい。
（この調整は目安ですので、実走行でスベリが出ないポイントまで、締め込んで下さい。）

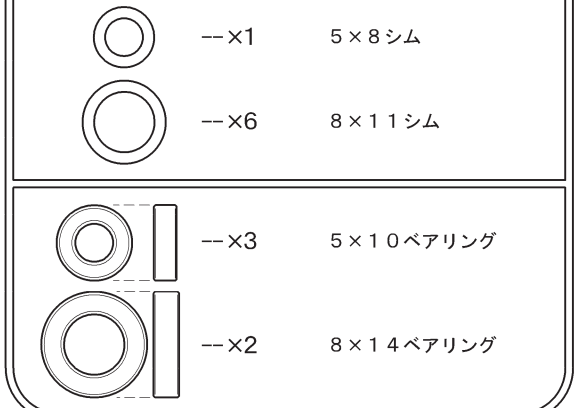


【 袋ー③ の内容 】



--×2　M２.６×６ 皿ビス
--×6　M３×８ 皿ビス
--×1　M３×１２ 皿ビス
--×4　M３×８ ナベビス
--×4　M３×１０ ナベビス
--×2　ハブピン(銀)
--×1　ハブピン(黒)
--×1　Oリング
--×2　Oリング(φ７.５)
--×1　フロントインプットシャフト
--×1　リアインプットシャフト
--×2　センタードライブカップ
--×2　ドライブギヤ
--×1　モーターマウント

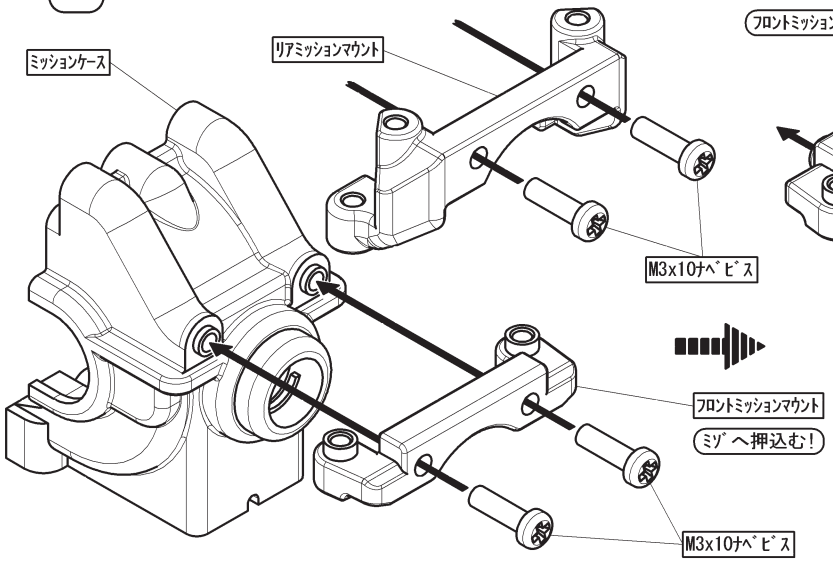
その他、ミッションケース類、シャーシブレース類

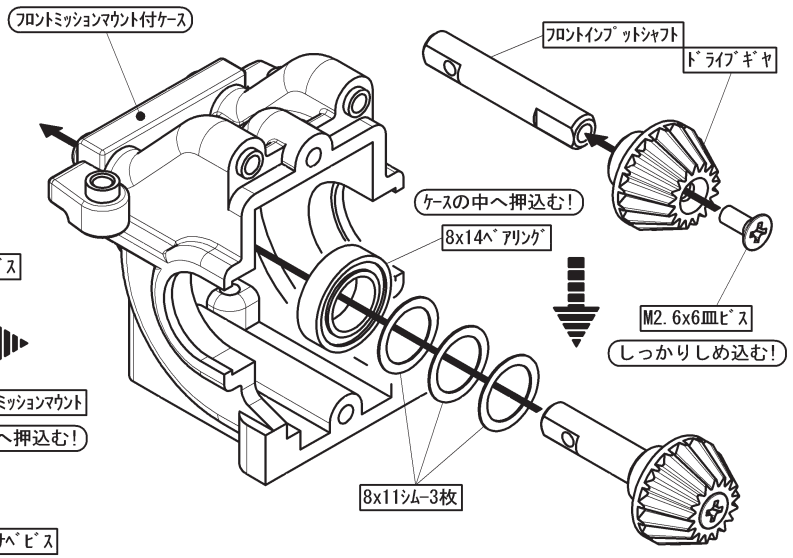


--×1　５×８シム
--×6　８×１１シム
--×3　５×１０ベアリング
--×2　８×１４ベアリング

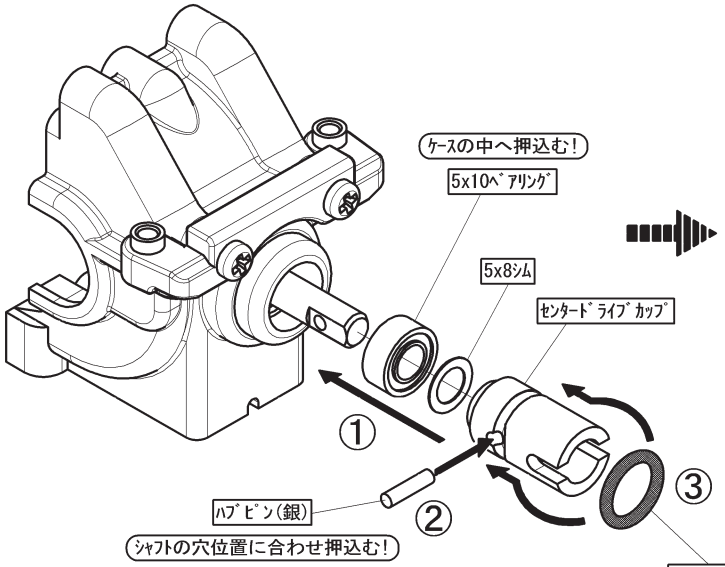
5 フロントミッションケースの組立て

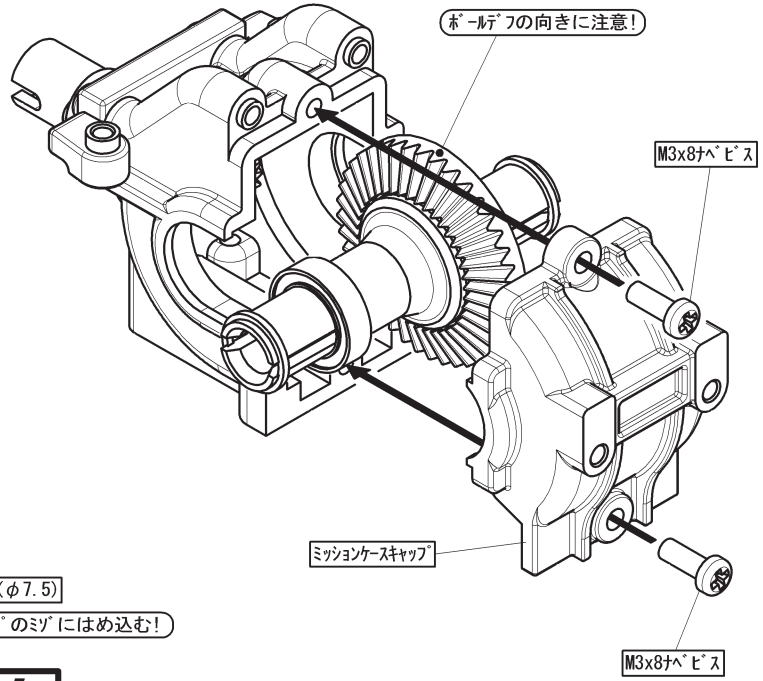
注意！ー (M2.6x6皿ビス)は、しっかりとしめ込んで下さい。



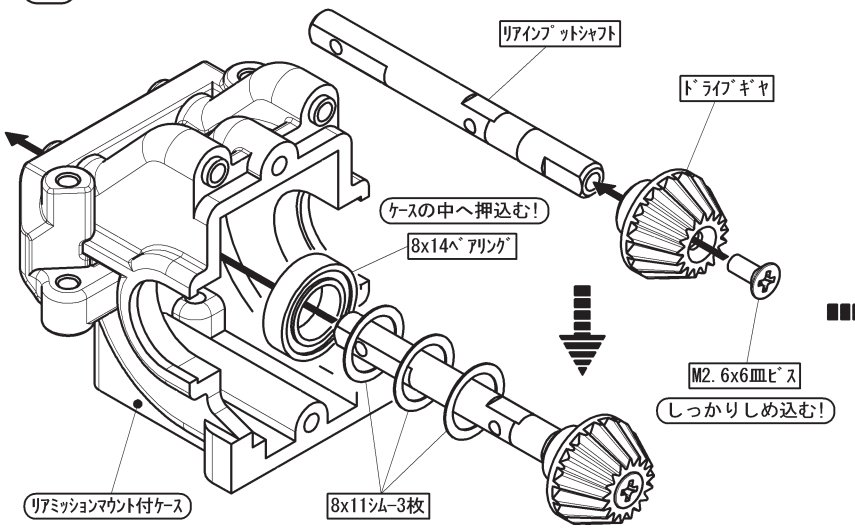


(ミッションケース)に(フロントミッションマウント)をはめ込み、(M3x10ナベビス)で固定します。
同様に(リアミッションマウント)をはめ込んだ(ミッションケース)も作ります。(次ページで使用)

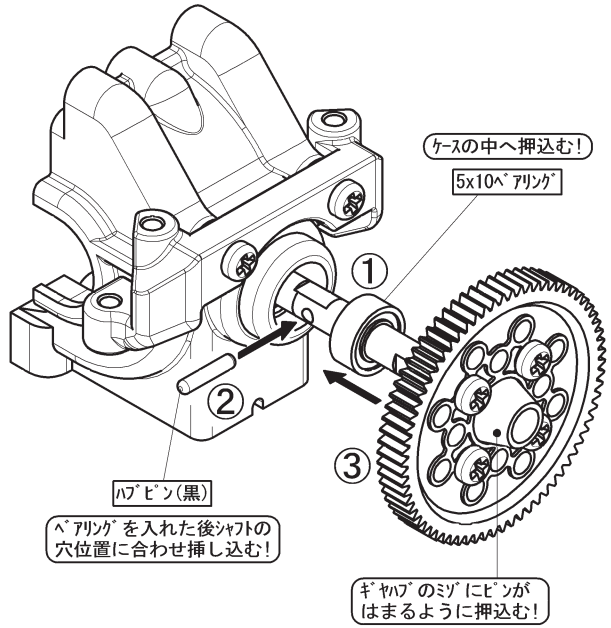


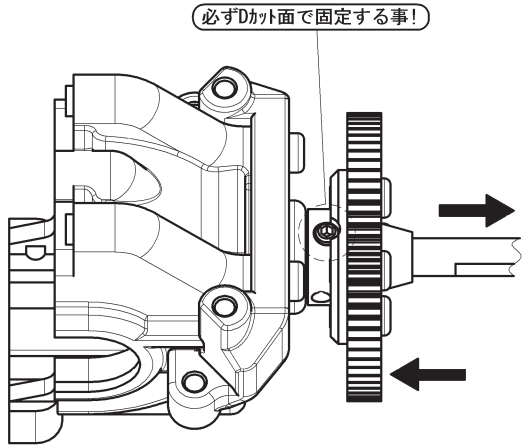


6 リアミッションケースの組立て



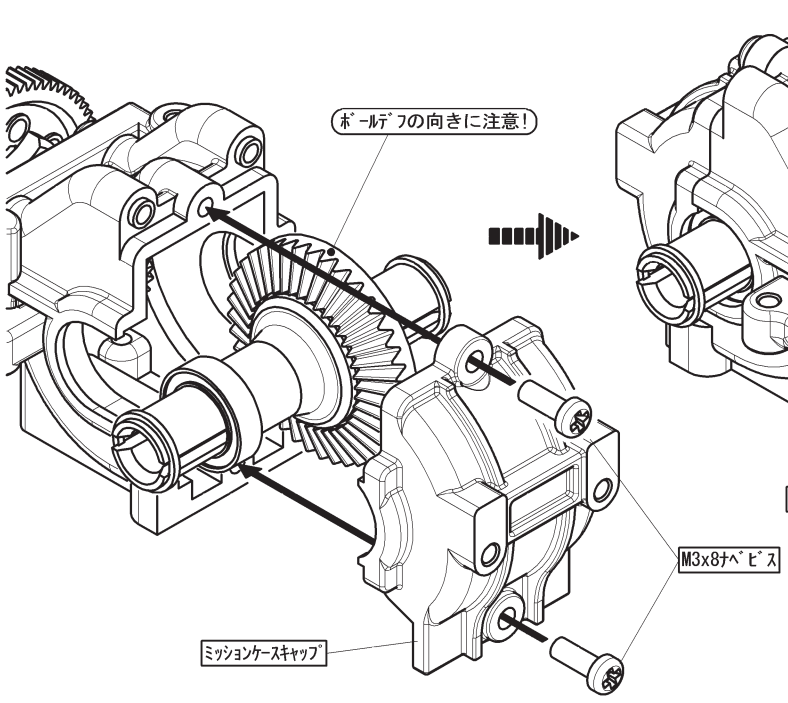
注意！①(M2.6x6皿ビス)は、しっかりとしめ込んで下さい。

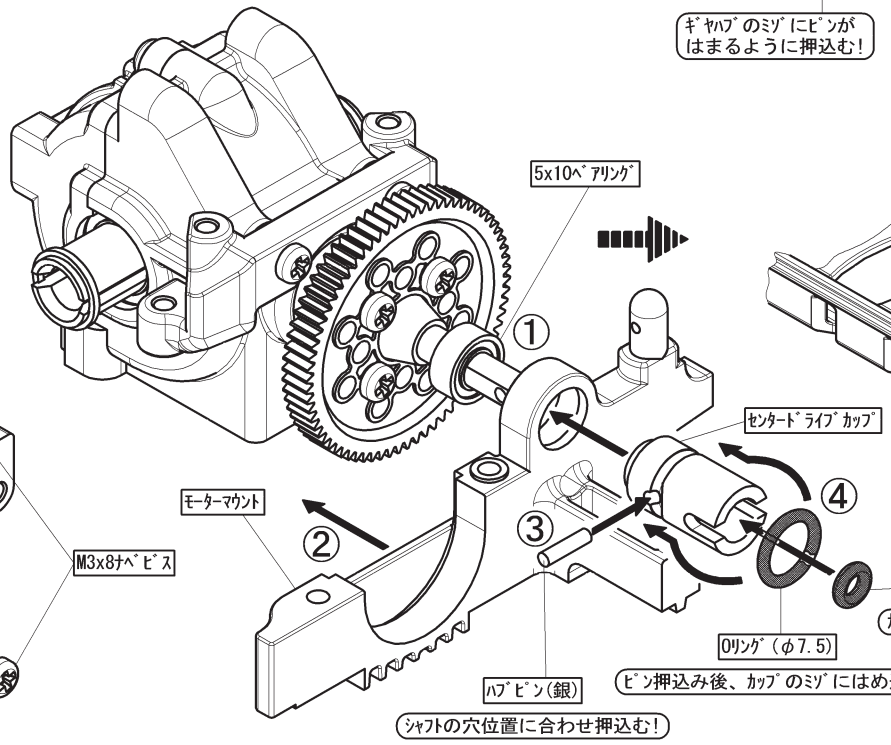


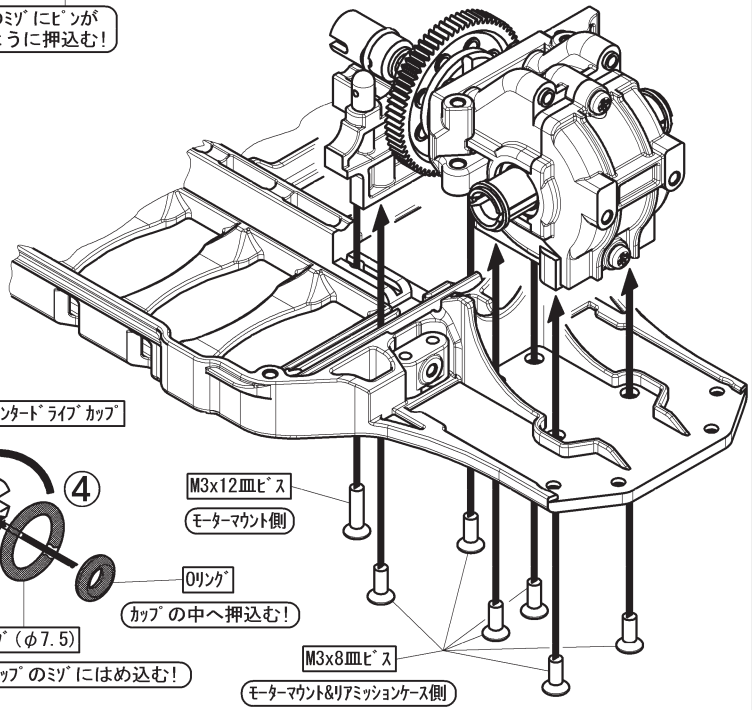


シャフトのDカット面にセットスクリューが当たるのを確認後、シャフトを引いた状態でスパーギヤをケース側に押し当てながら、セットスクリューをしめ込み固定させて下さい。

注意！②(スパーギヤハブ)を固定する(セットスクリュー)は強くしめすぎない様に注意して下さい。
(ゆるみ止めにネジロック剤などを使用して下さい。)



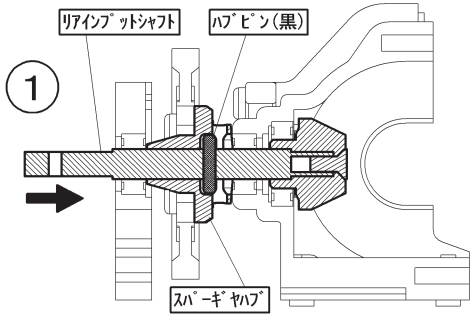




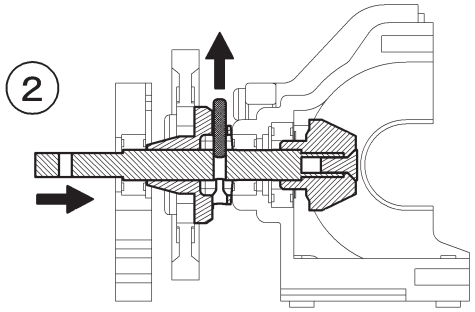
(モーターマウント)を固定する外側の穴は使用しませんので、ビスで固定しないで下さい。(３点固定です。)

１ポイントアドバイス！

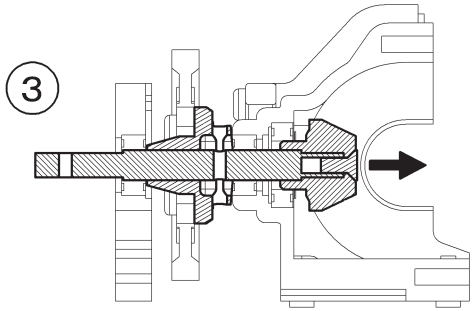
スパーギヤハブの取外し方



スパーギヤハブのセットスクリューをゆるめ
リヤインプットシャフトを後方へづらす。
（あらかじめセンタードライブカップ
を外しておいて下さい。）

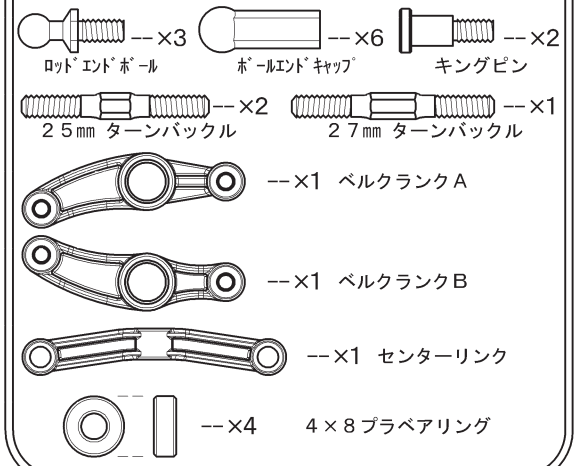


スパーギヤハブの穴からハブピンが見える
位置までリヤインプットシャフトをづらし
ハブピンを抜く。
（ハブピンが抜けやすい場合は、薄くゴム
系接着剤などを塗って下さい。）



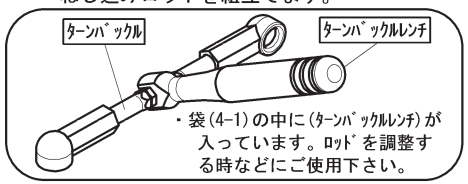
リヤインプットシャフトを引き抜きスパー
ギヤハブを上から抜く。
（再組立時は逆の手順で行います。）

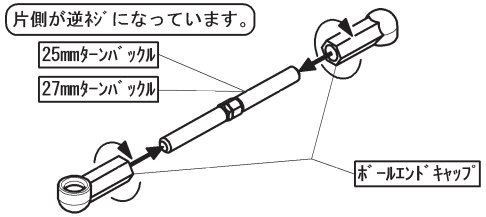
【 袋ー④ の内容 】



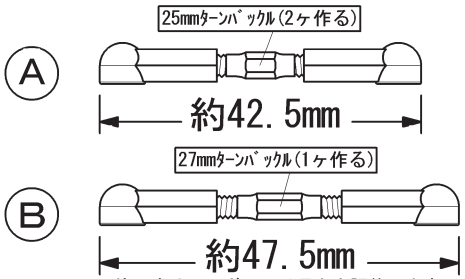
各タイロッドの組立て

・各ターンバックルの両側から(ﾎﾞｰﾙｴﾝﾄﾞ)を
ねじ込みロッドを組立てます。



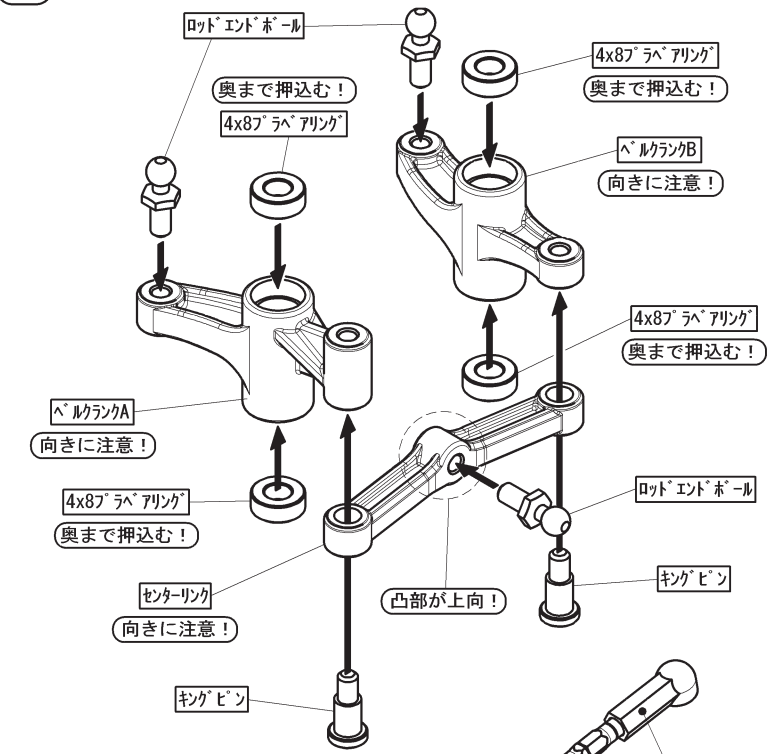


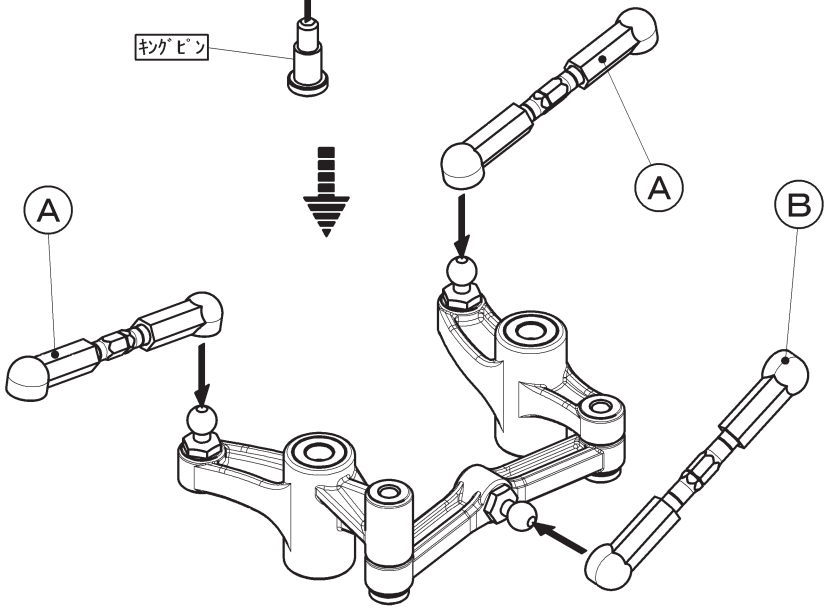
・各ロッド共、下記寸法で作成して下さい。



使用するサーボにより長さを調整します。

7 ベルクランクの組立て





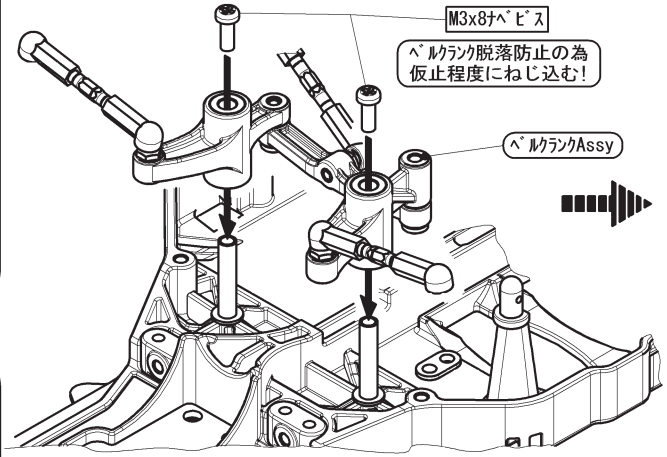
２種類の各ロッドを(ﾛｯﾄﾞｴﾝﾄﾞﾎﾞｰﾙ)にはめ込みます。
（はめ込む場所を間違えないように注意して下さい。
ターンバックルのネジ方向をそろえて取付ければ
後での長さ調整が簡単に行えます。）

【 袋ー⑤ の内容 】

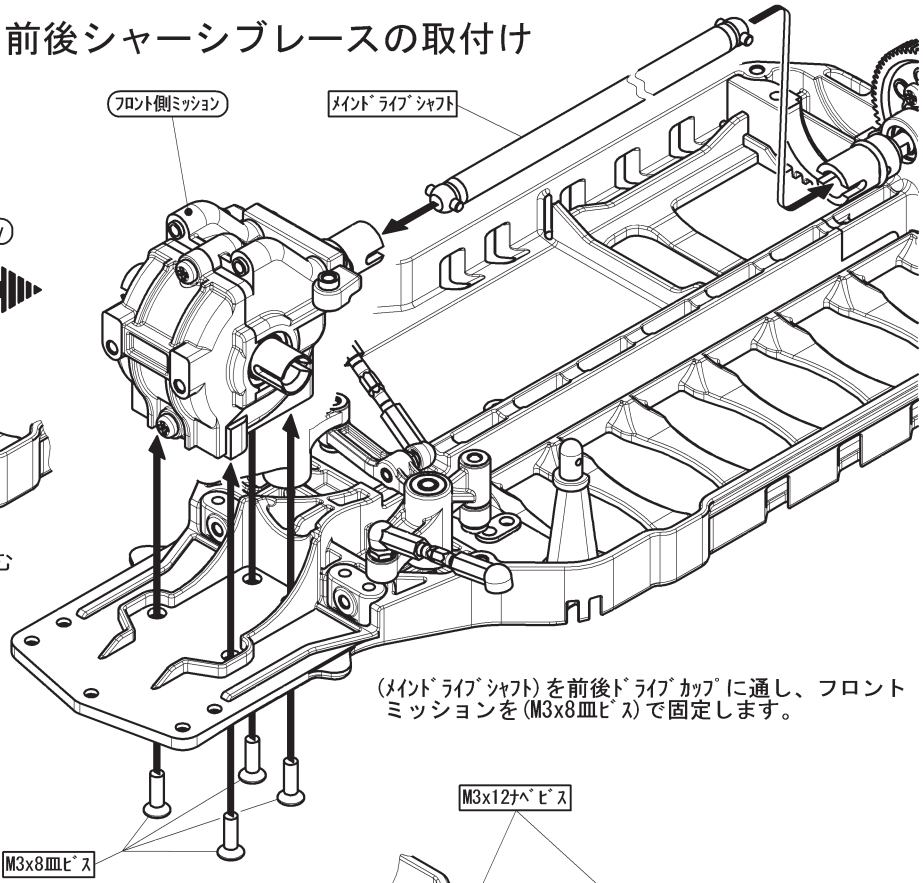
--×4	M３×８ 皿ビス
--×4	M３×８ ナベビス
--×4	M３×１２ ナベビス
--×2	M３×２２ ナベビス
--×1	メインドライブシャフト

その他、アンテナパイプ１本

8 フロントミッションケース、前後シャーシブレースの取付け

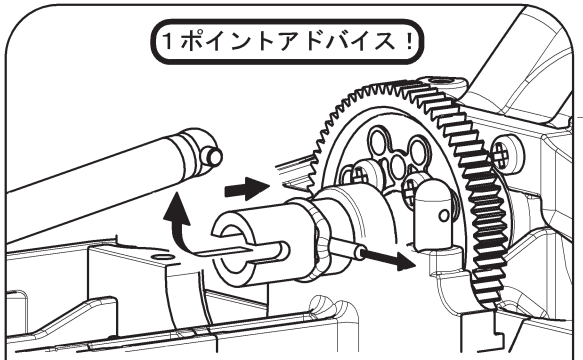


ベルクランク脱落防止の為、フロントミッションを組み込む前に(M3x8ﾅﾍﾞﾋﾞｽ)を仮止め程度にベルクランクポストにねじ込んで下さい。

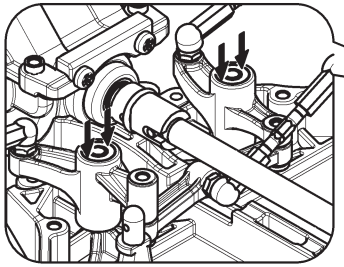


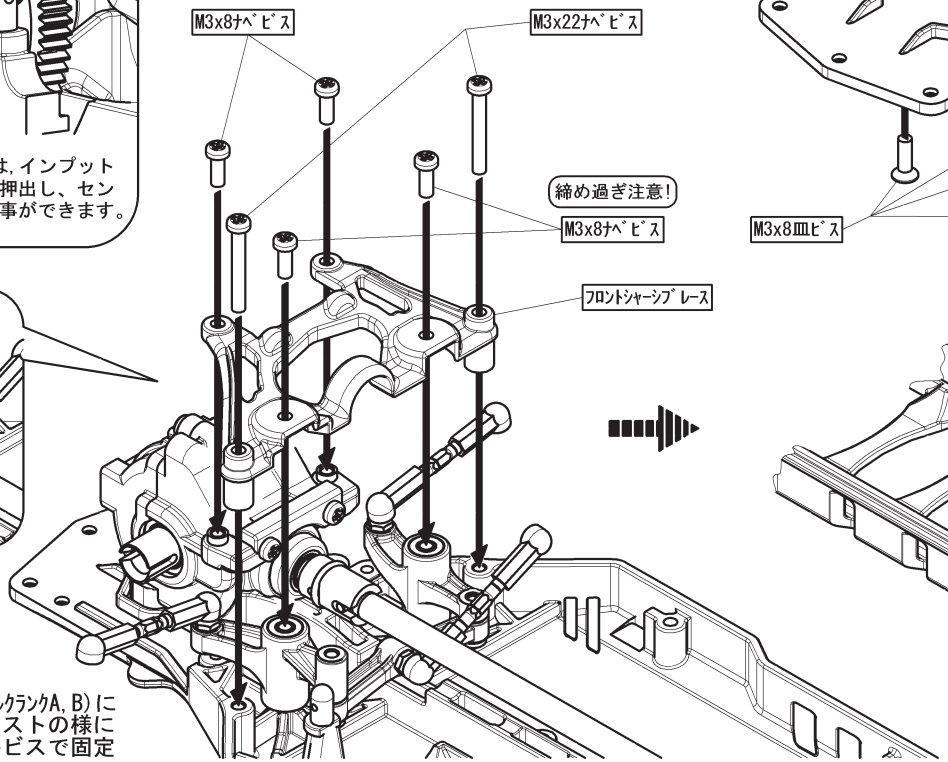
(ﾒｲﾝﾄﾞﾗｲﾌﾞｼｬﾌﾄ)を前後ﾄﾞﾗｲﾌﾞｶｯﾌﾟに通し、フロントミッションを(M3x8皿ﾋﾞｽ)で固定します。

1ポイントアドバイス！

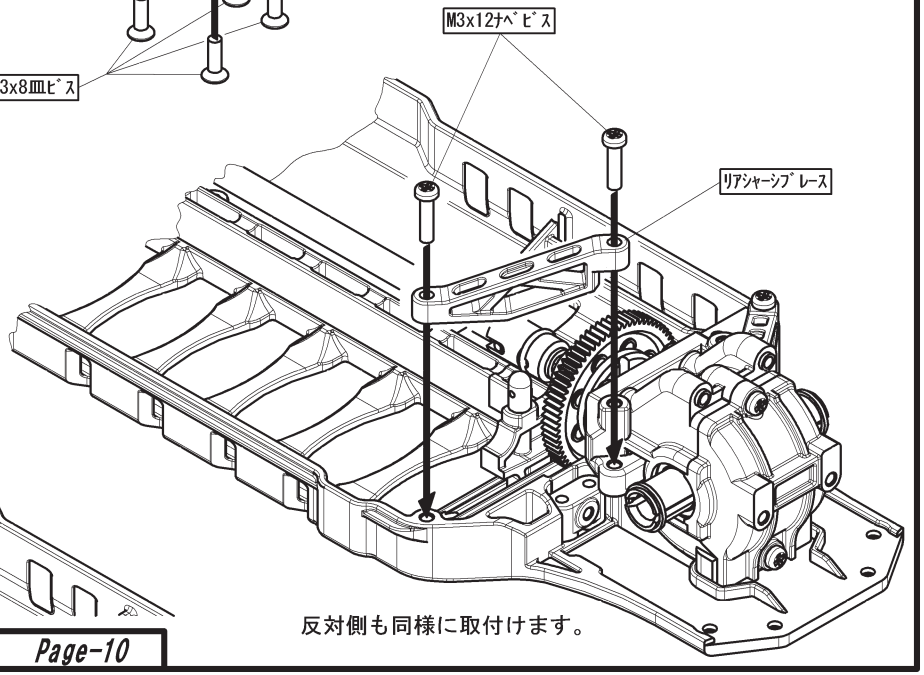


組立後、メインドライブシャフトを抜取る場合は,インプットシャフトからハブピン(銀)が抜けるまで外から押出し、センタードライブカップをズラスことで簡単に取る事ができます。



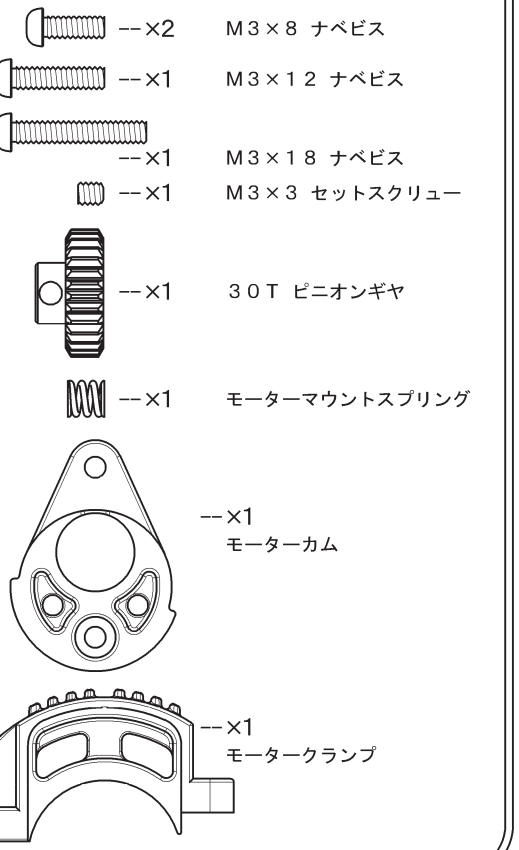


仮止めした(M3x8ﾅﾍﾞﾋﾞｽ)を外し、(ﾍﾞﾙｸﾗﾝｸA,B)にはめ込んだ(4x8ﾌﾟﾗﾍﾞｱﾘﾝｸﾞ)を上イラストの様に押し込んだ後、(ﾌﾛﾝﾄｼｬｰｼﾌﾞﾚｰｽ)を各ビスで固定します。



反対側も同様に取付けます。

【 袋ー⑥ の内容 】



--×2　M３×８ ナベビス

--×1　M３×１２ ナベビス

--×1　M３×１８ ナベビス

--×1　M３×３ セットスクリュー

--×1　３０T ピニオンギヤ

--×1　モーターマウントスプリング

--×1
モーターカム

--×1
モータークランプ

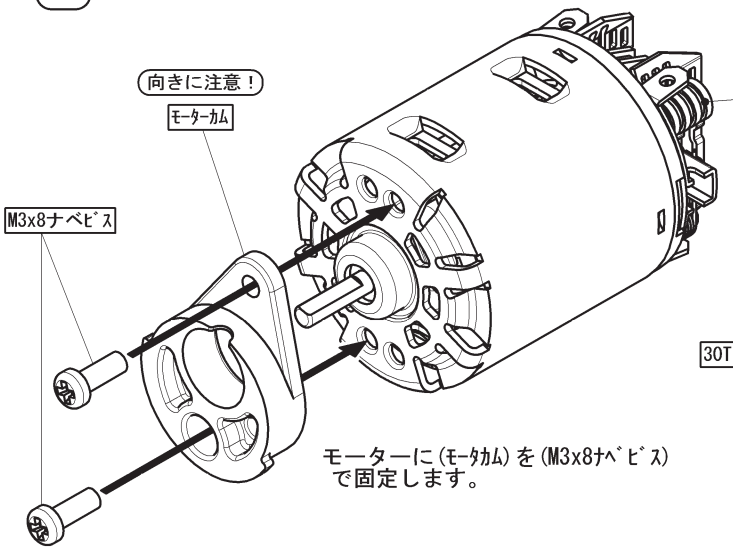
注意！①キットには、モーターは含まれておりませんので、別途ご用意下さい。

②ピニオンの取付けは、モーターシャフトの(Dカット)されている部分に、セットスクリューが当たる様にしっかりと締め込んで下さい。

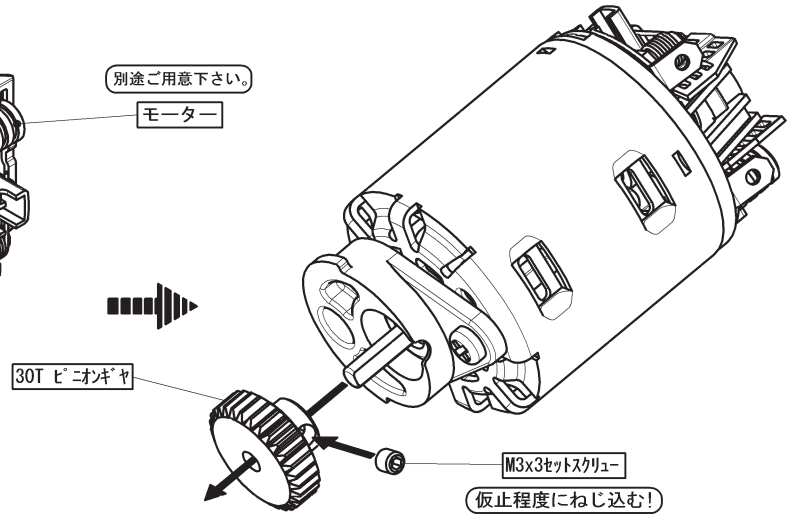
③バックラッシュは少し隙間が出来る程度に調整して下さい。(調整不足は、ノイズ及びギヤ破損の原因になります。)

④連続走行はモーターに必要以上の負荷を掛けるだけでなく寿命も短くなりますので、完全に冷えた事を確認してから走行をさせて下さい。

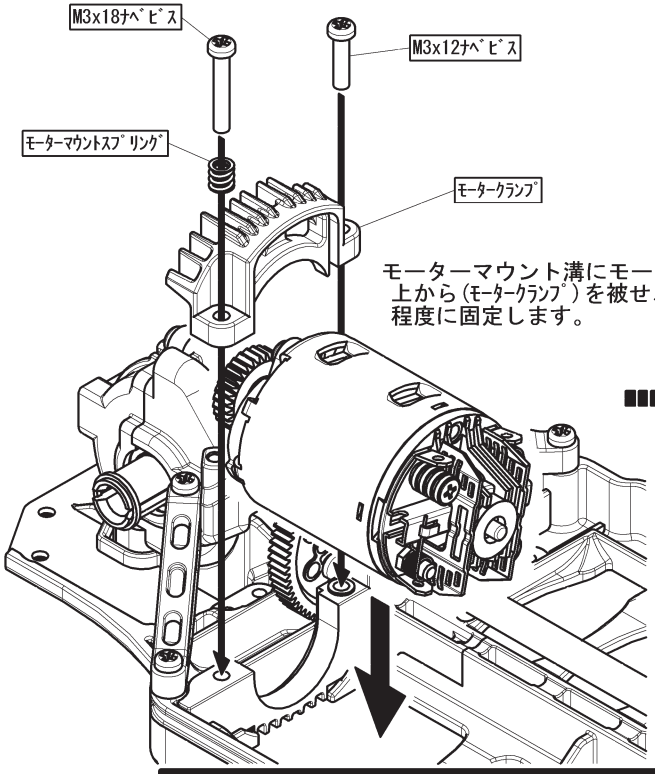
９ モーター、ピニオンギヤの取付け



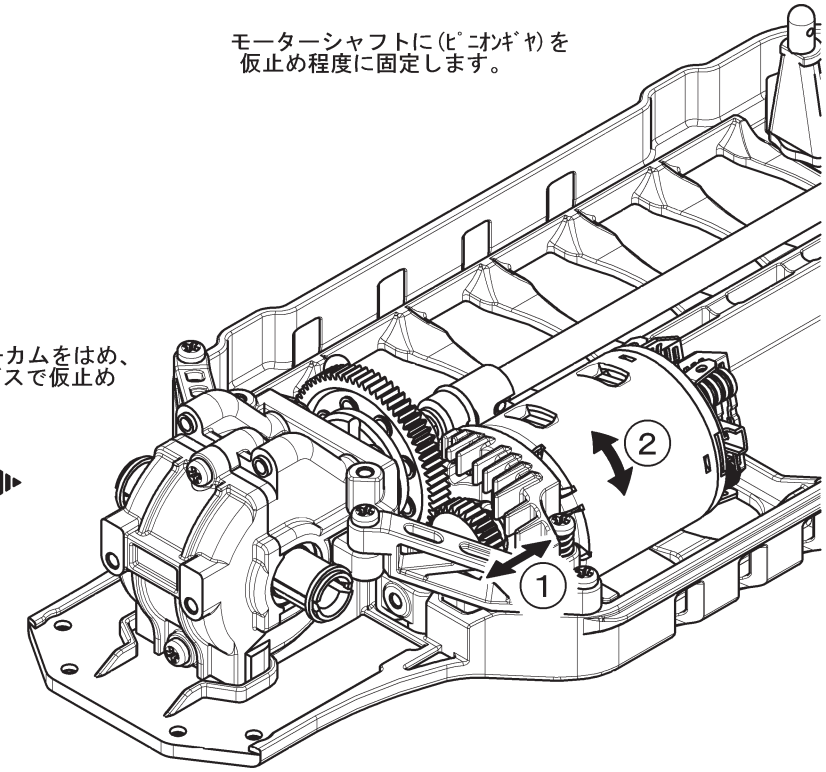
モーターに(ﾓｰﾀｶﾑ)を(M3x8ﾅﾍﾞﾋﾞｽ)で固定します。



モーターシャフトに(ﾋﾟﾆｵﾝｷﾞﾔ)を仮止め程度に固定します。

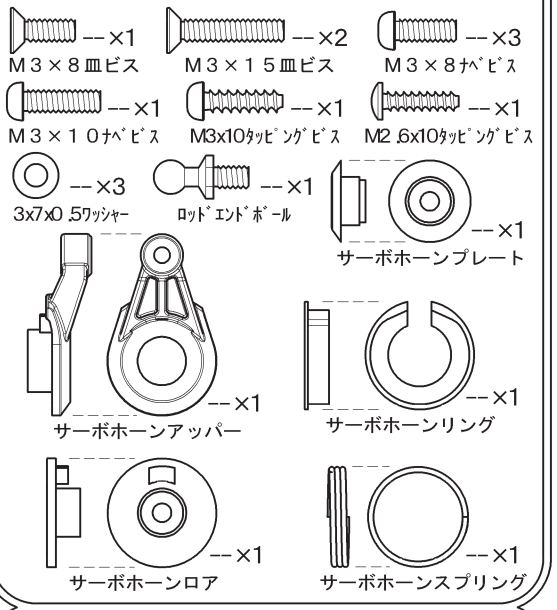


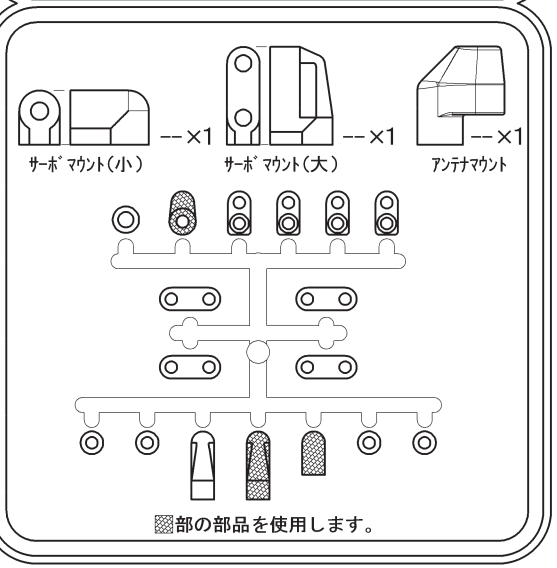
モーターマウント溝にモーターカムをはめ、上から(ﾓｰﾀｰｸﾗﾝﾌﾟ)を被せ、ビスで仮止め程度に固定します。



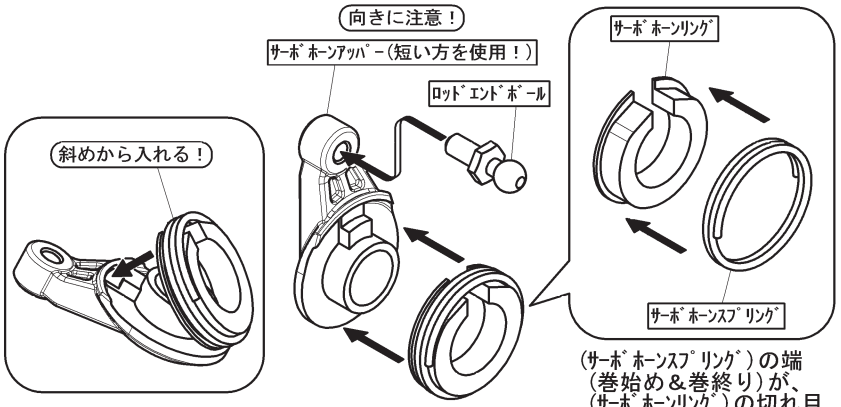
スパーギヤの歯幅にかみ合うようにピニオンギヤの位置を調整し、セットスクリューを本締めします。最後にバックラッシュを合わせＭ３×１２ナベビスを先にしめ込んだ後、Ｍ３×１８ナベビスをスプリングが密着する位までしめ込みます。

【 袋ー⑦ の内容 】



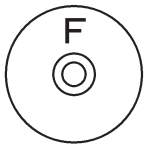


10 サーボセーバー、サーボの取付け



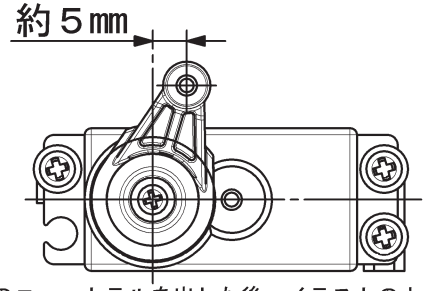
(サーボホーンアッパー)は２種類付属されていますが、全長の短い方を使用します。
(サーボホーンリング)のはめ込みが固い場合は、イラストの様に斜めから入れて下さい

(サーボホーンスプリング)の端(巻始め＆巻終り)が、(サーボホーンリング)の切れ目にかからないよう取付けて下さい。



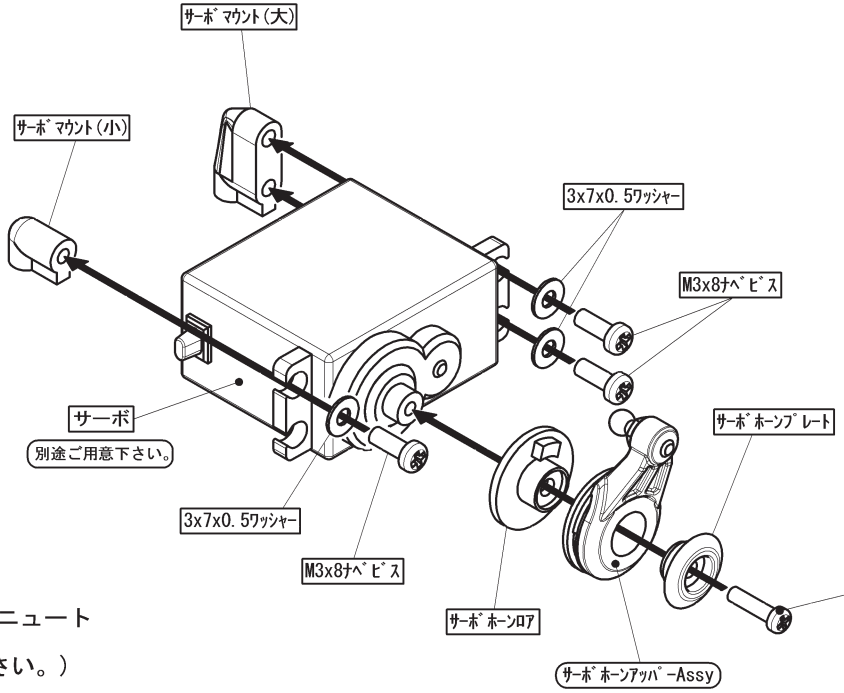
刻印	メーカー
F	フタバ
H	ハイテック
JKS	JR,KO,サンワ

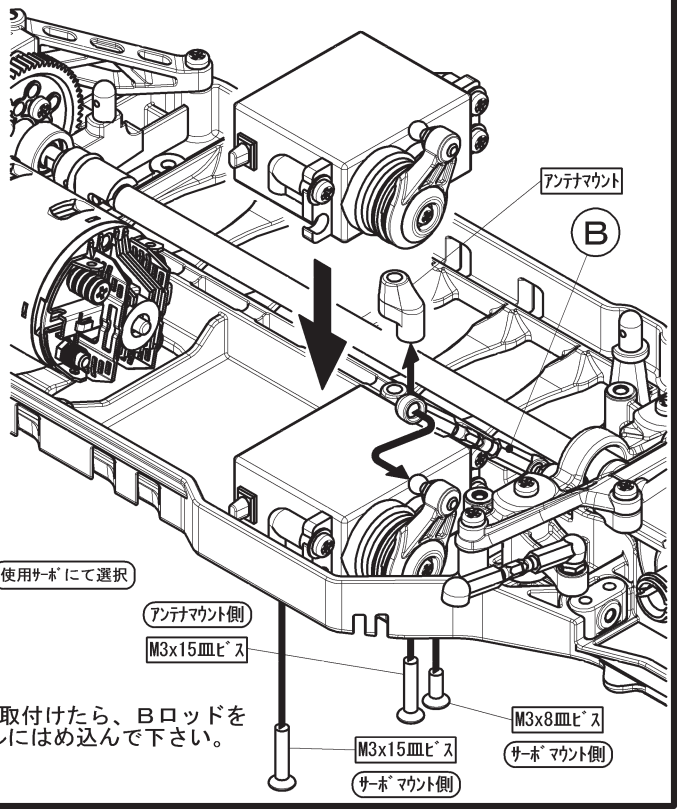
付属の(サーボホーンロア)には刻印が入っています。
ご使用になるメーカーに合わせてお選び下さい。



サーボのニュートラルを出した後、イラストのようにサーボホーンを約５mm(１山分)ずらして取付けて下さい。

注意！①サーボホーンを固定するビスは、使用するサーボに付属されているネジ部と同タイプのビスを使用して下さい。
(本キット付属のビスは、トラスM2.6x10タッピングビス、M3x10タッピングビス、M3x10ナベビスの３種類です。)





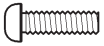
シャーシにサーボを取付けたら、Bロッドをロッドエンドボールにはめ込んで下さい。

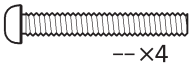
注意！②(サーボホーンロア)を取付ける前に必ず、サーボのニュートラルを出して下さい。
(詳しくはプロポセットの説明書をご覧下さい。)

③キット付属の(サーボホーンロア)は3種類用意されています。
必ずご使用になるサーボ(メーカー)に合ったホーンをお使い下さい。
(形が合わないサーボホーンを使うとサーボに無理な力が掛かり、故障の原因になります。)

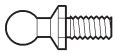
【 袋ー⑧ の内容 】


--×2　M３×８ ナベビス

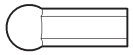

--×2　M３×１０ ナベビス

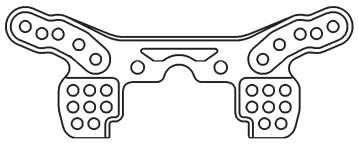

--×4　M３×２２ ナベビス

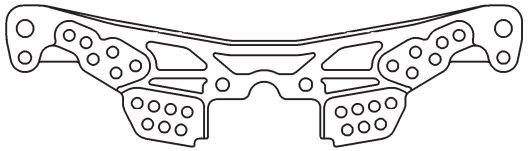

--×4　３９㎜ ターンバックル


--×4　ロッドエンドボール

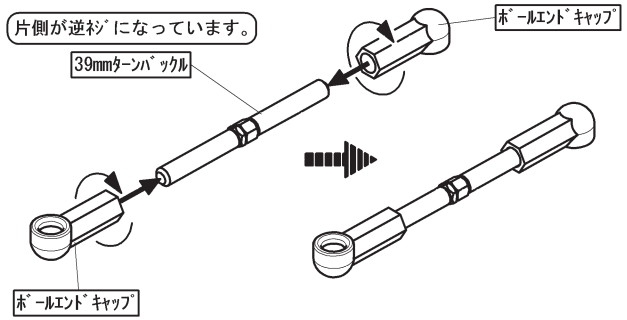

--×6　M３ 平ナット

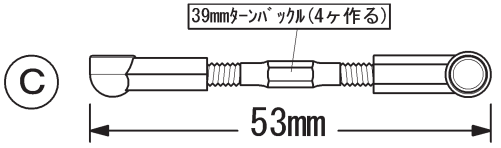

--×8　ボールエンドキャップ


--×1　フロントショックタワー


--×1　リアショックタワー

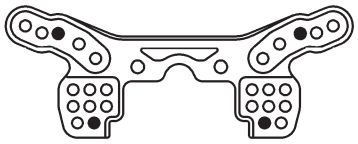
11 前後アッパーアームの組立て



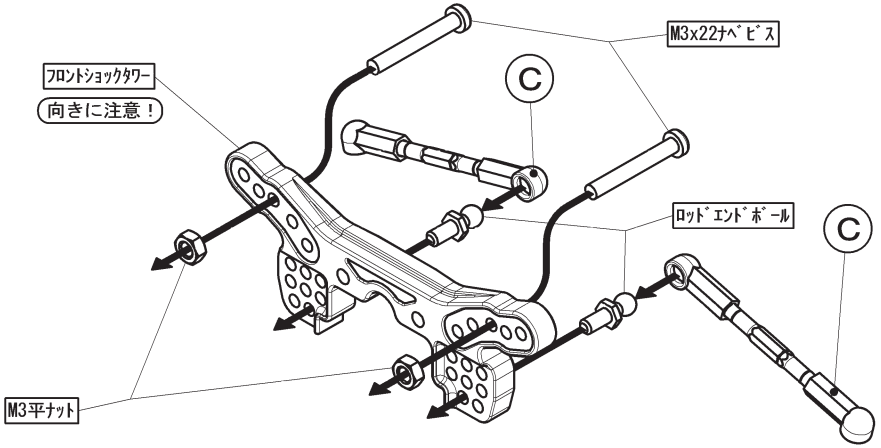


ボールエンドキャップの向きは、
車体取付時に調整して下さい。

フロントショックタワーに取付け



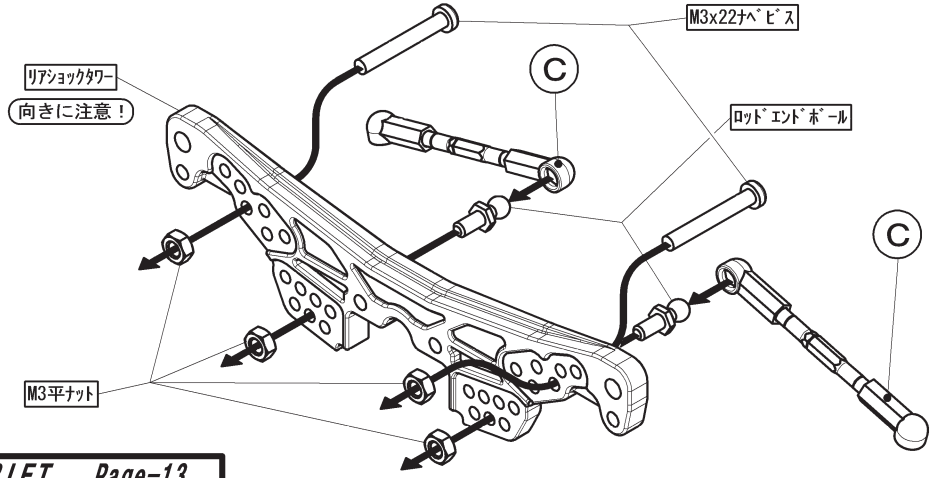
●部の穴を使用します。



リアショックタワーに取付け



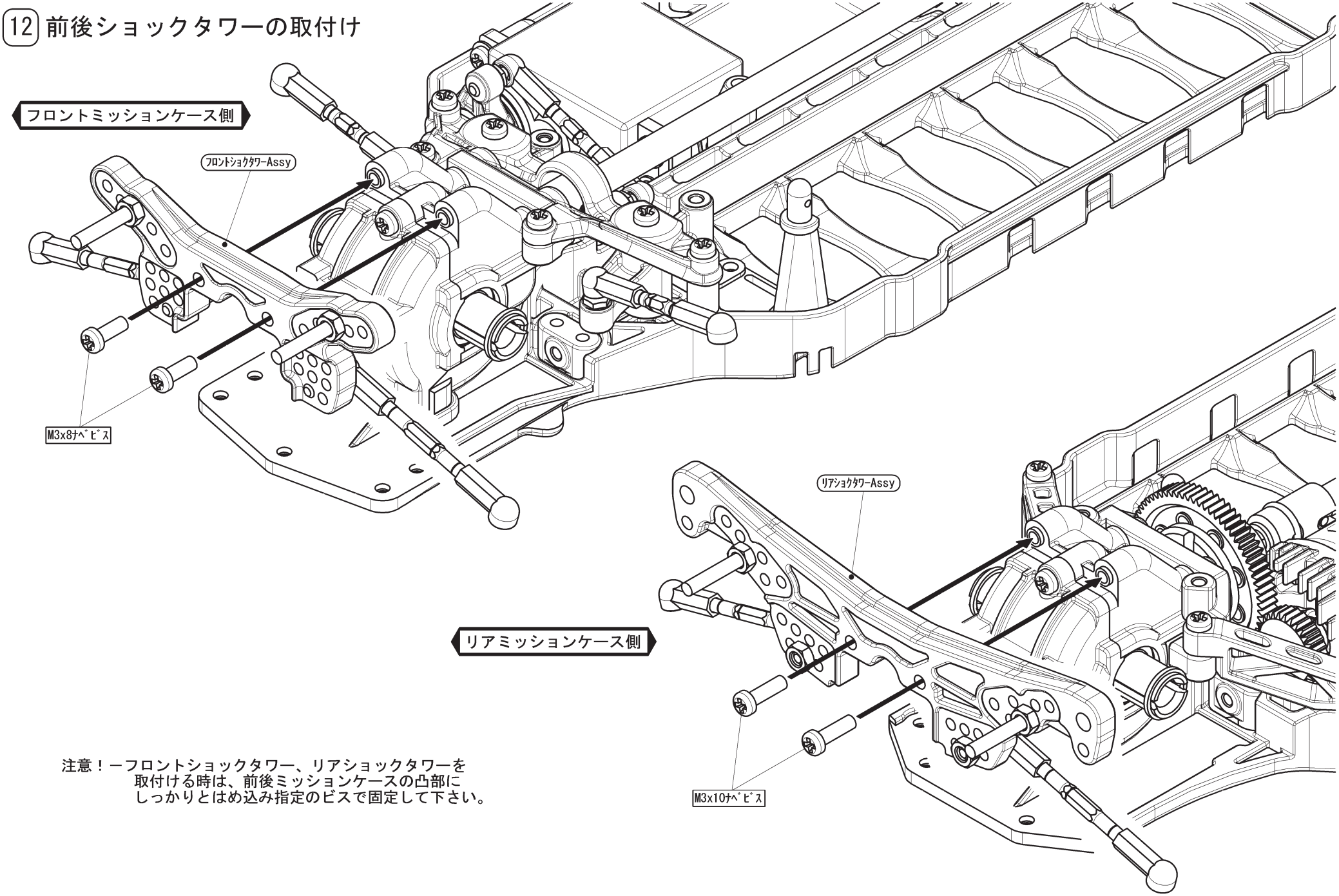
●部の穴を使用します。



ロッドエンドボールをショックタワーに取付後、
前後アッパーアームをはめ込んで下さい。
（ターンバックルのネジ方向をそろえて取付ければ
後での長さ調整が簡単に行えます。）

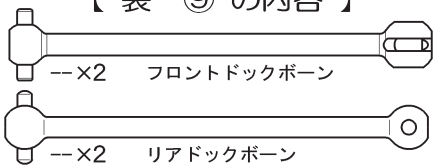
注意！ー前後ショックタワーには取付け向きが
ありますので注意して下さい。

12 前後ショックタワーの取付け



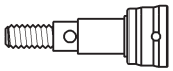
注意！－フロントショックタワー、リアショックタワーを
取付ける時は、前後ミッションケースの凸部に
しっかりとはめ込み指定のビスで固定して下さい。

【 袋ー⑨ の内容 】

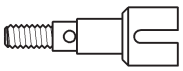


--×2　フロントドックボーン

--×2　リアドックボーン



--×2
フロントアクスル



--×2
リアアクスル



--×2
カップリング



--×2
クロスピン



--×2
M３×２.５ｾｯﾄｽｸﾘｭｰ

その他、ジョイントグリス袋 １ヶ

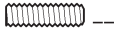
【 袋ー⑩ の内容 】



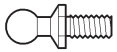
--×4
M３×１０ 皿ビス



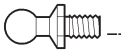
--×2
M３×４ｾｯﾄｽｸﾘｭｰ



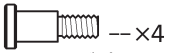
--×4
M３×１０ｾｯﾄｽｸﾘｭｰ



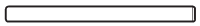
--×4
ﾛｯﾄﾞｴﾝﾄﾞﾎﾞｰﾙ(黒)



--×2
ﾛｯﾄﾞｴﾝﾄﾞﾎﾞｰﾙ(銀)



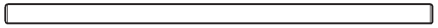
--×4
キングピン



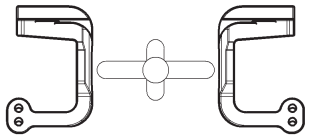
--×4
アウターサスアームピン



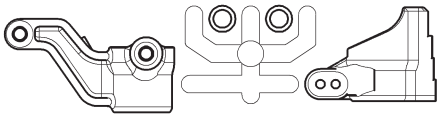
--×8
M２.６×４ﾄﾗｽﾋﾞｽ



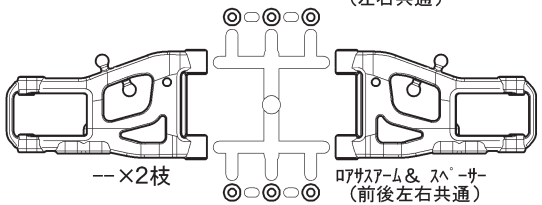
--×4　インナーサスアームピン



--×1枚　ステアリングハブキャリア



--×2枚　ｽﾃｱﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ＆ リアハブｷｬﾘｱ＆ ｷﾝｸﾞﾋﾟﾝｶﾗｰ
（左右共通）



--×2枚
ﾛｱｻｽｱｰﾑ＆ ｽﾍﾟｰｻｰ
（前後左右共通）

その他、サスマウント １ヶ



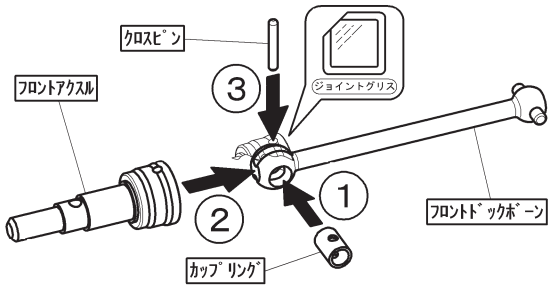
--×8　６×１０メタル

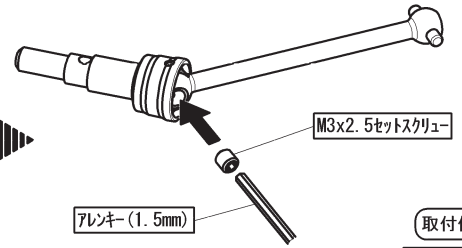
13 フロント＆リアハブキャリアの組立て

注意！①アクスルにドックボーンをはめる時は
必ずジョイントグリスを塗って下さい。
（別売のブラックグリスでも代用出来ます。）

フロントユニバーサルシャフトの組立て

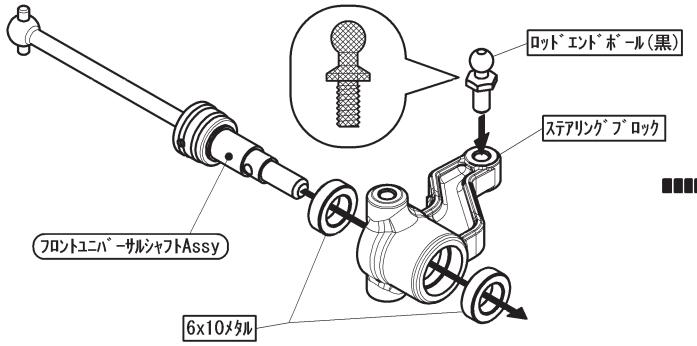
２セット作ります。

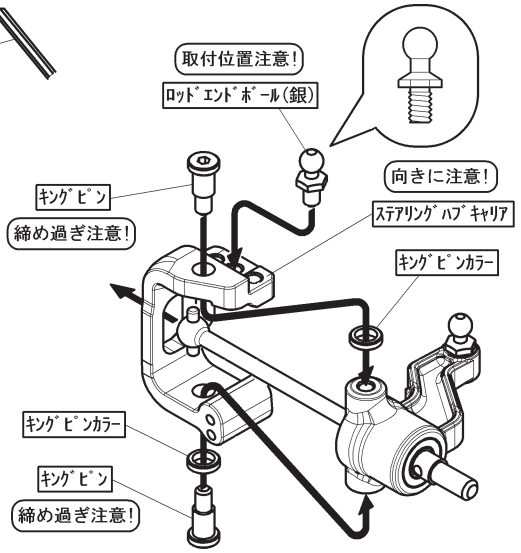




フロントハブキャリアの組立て

２セット作ります。（ｽﾃｱﾘﾝｸﾞﾊﾌﾞｷｬﾘｱには左右あり）



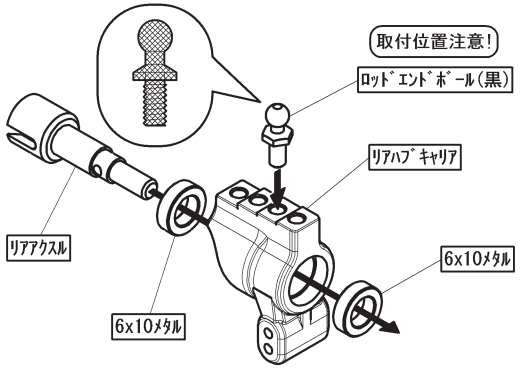


注意！②(ｽﾃｱﾘﾝｸﾞﾊﾌﾞｷｬﾘｱ)は左右があります。

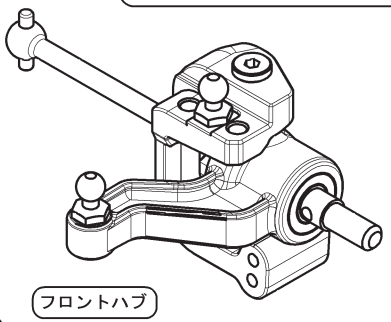
③(ｷﾝｸﾞﾋﾟﾝ)上側を取付ける時は(ｷﾝｸﾞﾋﾟﾝｶﾗｰ)を
押しつぶさない様注意してしめ込んで下さい。
（つぶれてしまうと動きが悪くなります。）

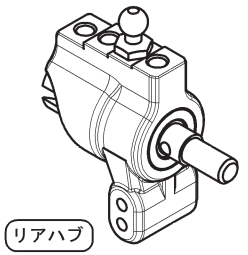
リアハブキャリアの組立て

２セット作ります。



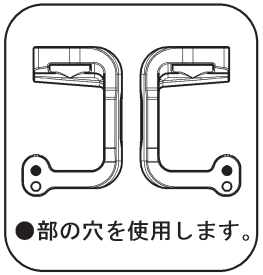
【 反対側も対称に組立てます。】

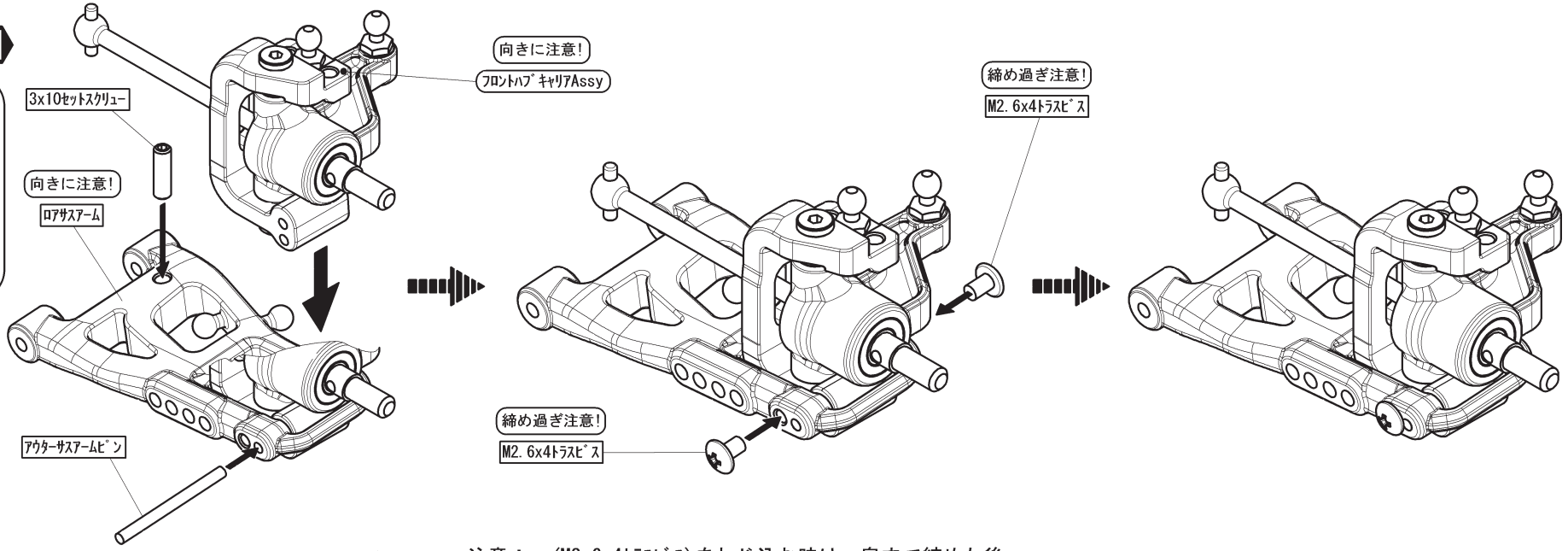




14 ロアサスアームの組立て

フロント側の組立て



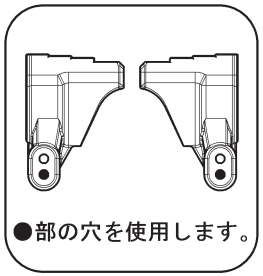


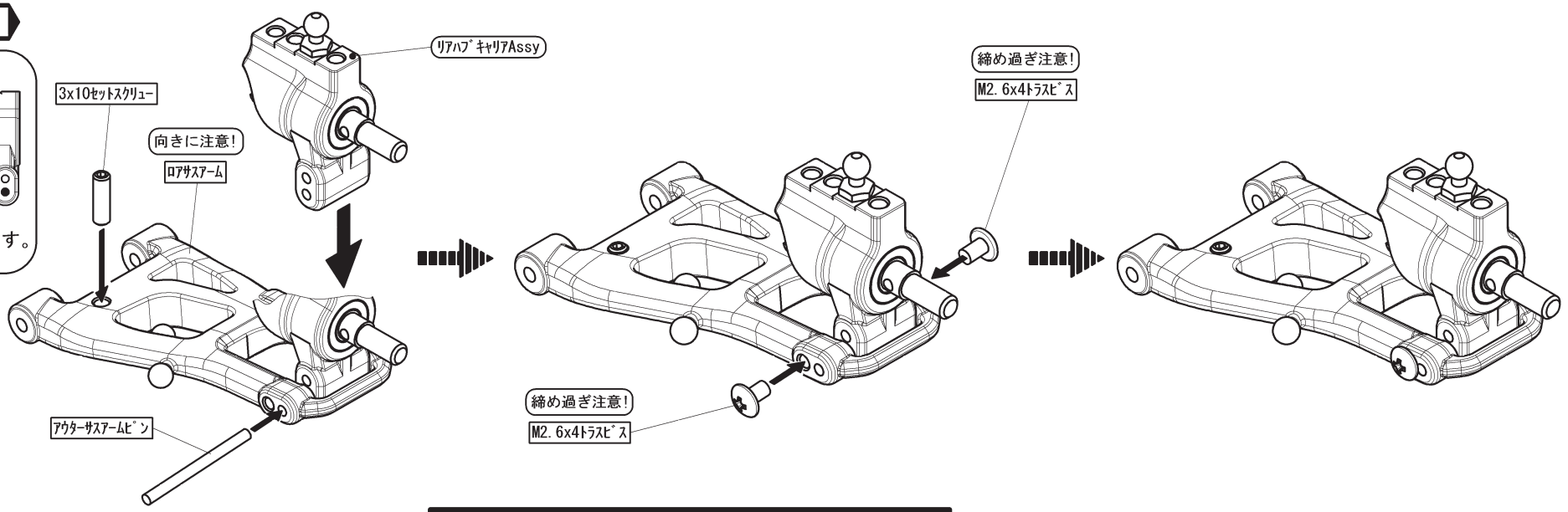
---------- Ｍ３×１０セットスクリューは、フロント側がロアアーム下側約２㎜程度出るまで、リア側は飛び出さない程度まで締め込んで下さい。 ----

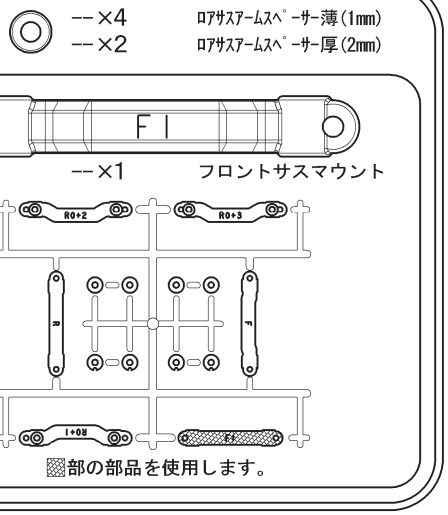
注意！－(M2.6x4ﾄﾗｽﾋﾞｽ)をねじ込む時は、奥まで締めた後、１／４回転程戻して下さい。（締込み過ぎるとアームの動きが渋くなります。）

【 反対側も対称に組立てます。】

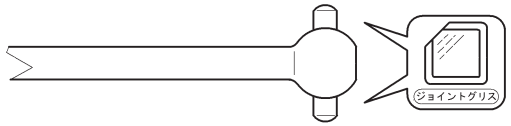
リア側の組立て







【取付け前にちょっと注目！】

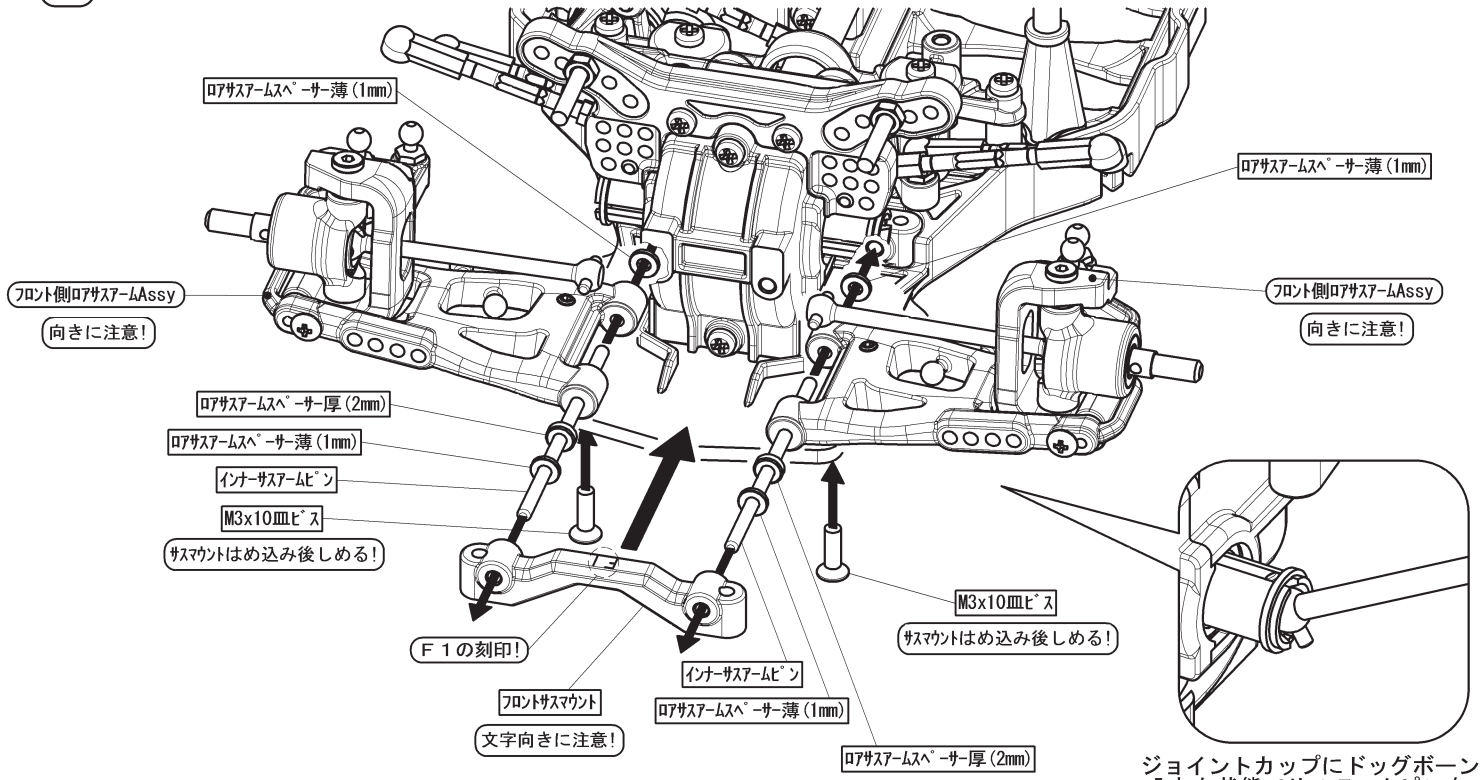


・フロント、及びリアドックボーンシャフトの
ピンには必ず(ジョイントグリス)を塗る事。

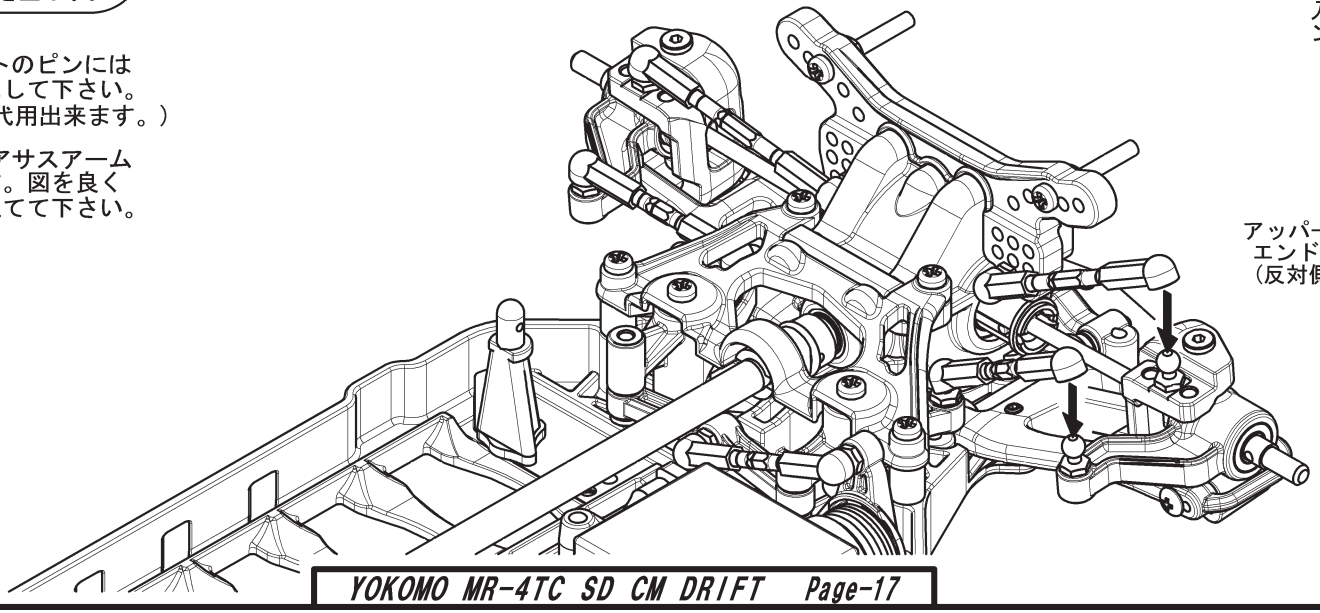
注意！①フロントドックボーンシャフトのピンには
必ず(ｼﾞｮｲﾝﾄｸﾞﾘｽ)を塗る様にして下さい。
(別売のブラックグリスでも代用出来ます。)

②前工程で組立てたフロントロアサスアーム
には、左右の向きがあります。図を良く
参照し間違いの無い様に組立てて下さい。

15 フロントロアサスアームの取付け

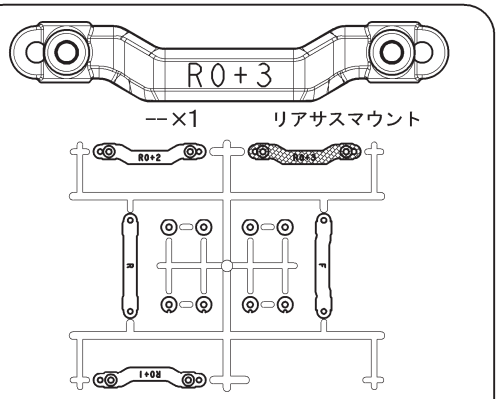


ジョイントカップにドッグボーンを
入れた状態でサスアームピンをマウ
ントにさし込み固定して下さい。



アッパーアーム、タイロッドをボール
エンドにはめ込みます。
(反対側も同じ様にはめ込みます。)

--×4　ﾛｱｻｽｱｰﾑｽﾍﾟｰｻｰ薄(1mm)
--×2　ﾛｱｻｽｱｰﾑｽﾍﾟｰｻｰ厚(2mm)



--×1　リアサスマウント

▨部の品を使用します。

マウントの刻印表示

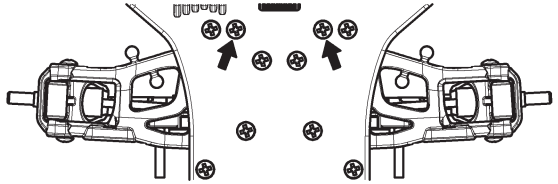
マウントの刻印表示は以下の様になります。

Ｆ１ ＝ フロント用スキッド １度
ＲＯ＋１ ＝ リア用トーイン １度
ＲＯ＋２ ＝ リア用トーイン ２度 } スキッド角０度
ＲＯ＋３ ＝ リア用トーイン ３度

他２種類のスペーサーは以下の様になります。

キリ欠きなし ＝ 高さ調整用 １mm厚(１枚)
キリ欠きあり ＝ スキッド角調整用 １度(１枚)

【取付け後に確認！】

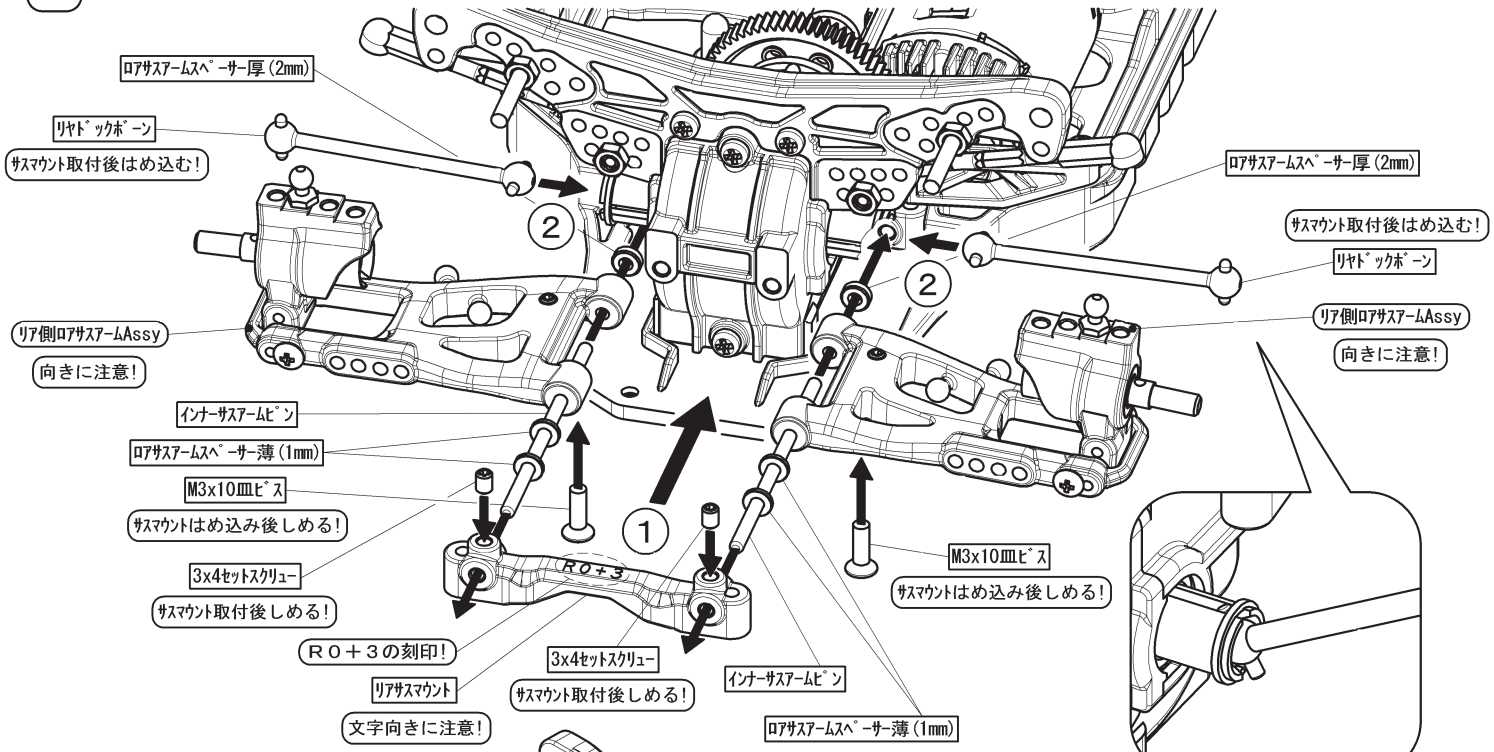


サスアーム取付け後、アームの作動が渋い場合は、サスマウント取付ビスのしめ込み過ぎによるサスアームピンの歪みが原因です。イラストで示すビス(２本)を一度ゆるめ、アームの作動を確認しながらしめ直して下さい。あまり変化が見られないようでしたらこのビスを取り外して下さい。(ビスを取り外しても走行上の問題はありません。フロント側も同様に調整して下さい。)

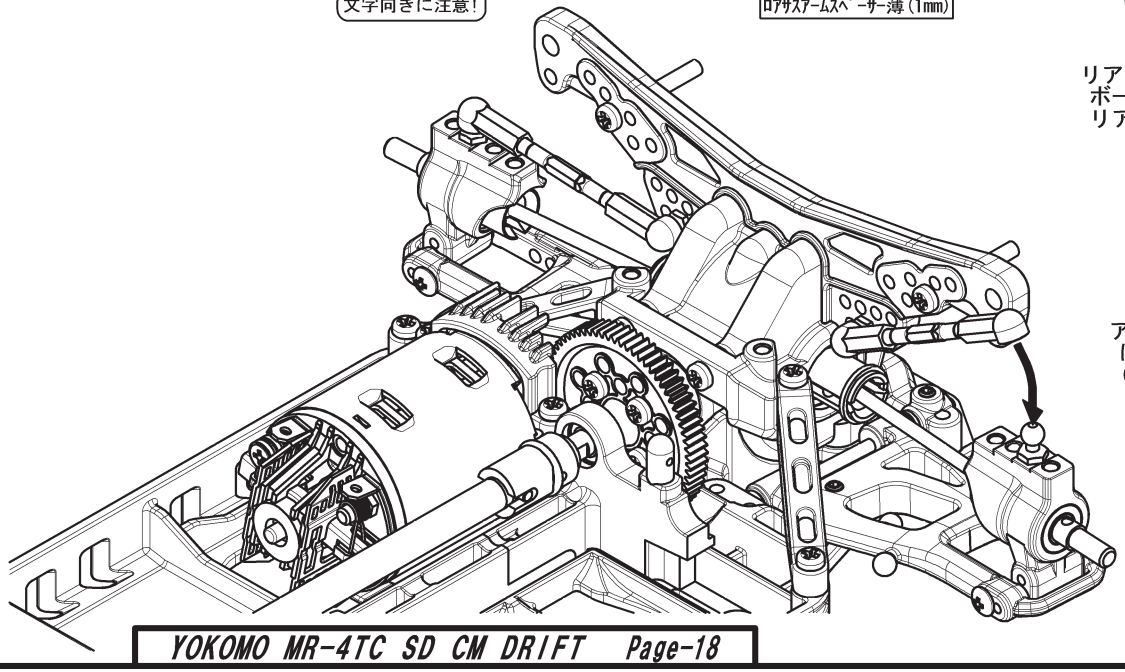
注意！①リアドックボーンシャフトのピンには必ず
(ｼﾞｮｲﾝﾄｸﾞﾘｽ)を塗る様にして下さい。
(別売のブラックグリスでも代用出来ます。)

②前工程で組立てたリアロアサスアームには
左右の向きがあります。図を良く参照し
間違いの無い様に組立てて下さい。

16 リアロアサスアームの取付け

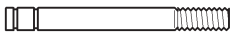


リアサスマウント取付け後、リアドックボーンをジョイントカップにはめ込み、リアアクスルに差し込んで下さい。



アッパーアームをボールエンドにはめ込みます。
(反対側も同じ様にはめ込みます。)

【 袋ー⑪ の内容 】

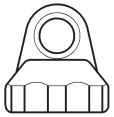

--×4　ショックシャフト

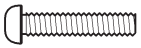

----×8　2mm Eリング


--×4　ショックスプリング

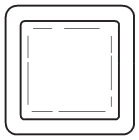

----×8　Oリング


--×4　Oリング(φ１０)


--×4　ショックキャップ


--×4　M３×１５ ナベビス

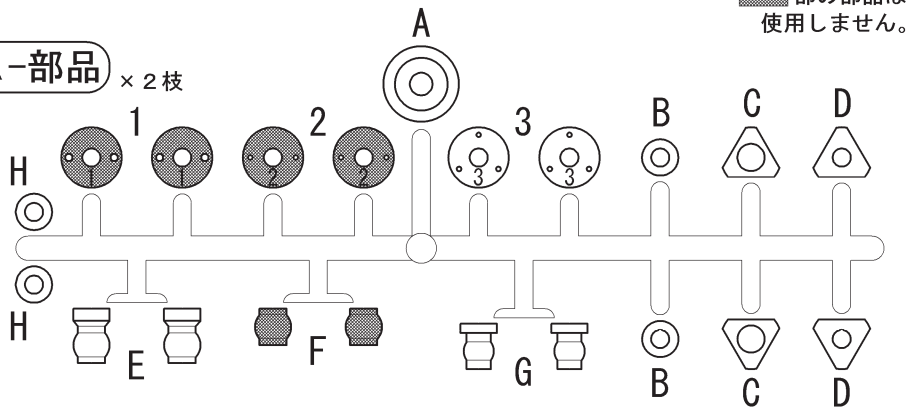

--×4　M３ナイロンナット


--×1　ショックグリス

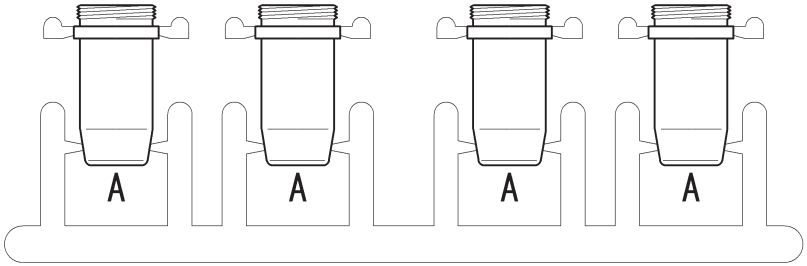
(別売のグリーンスライム Ｃ－１１０５
●４３０でも代用出来ます。)

■部の部品は
使用しません。

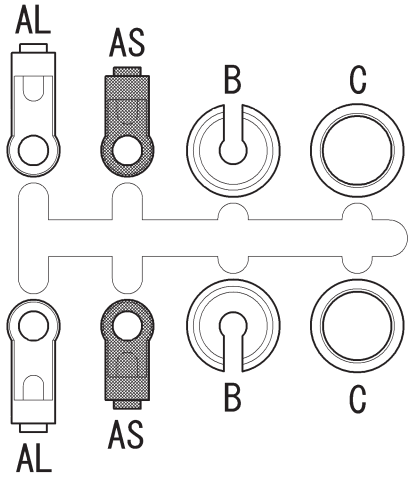
A-部品 × ２枚



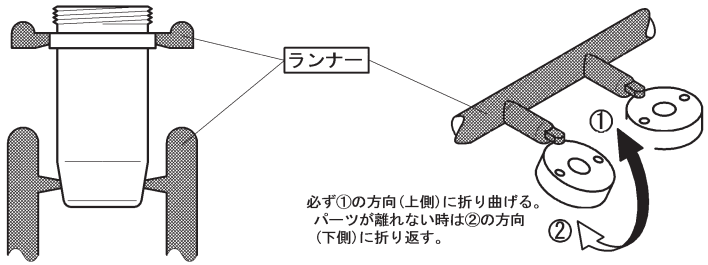
B-部品 × １枚



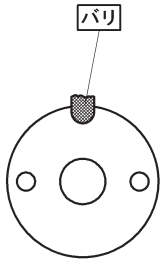
C-部品 × ２枚



【各ランナーから使用するパーツを切り離す】

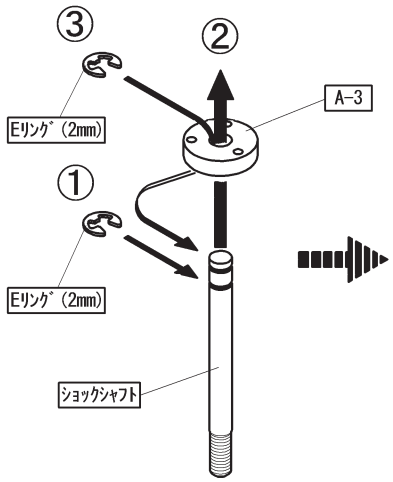


【バリはカッターで切り落とす】

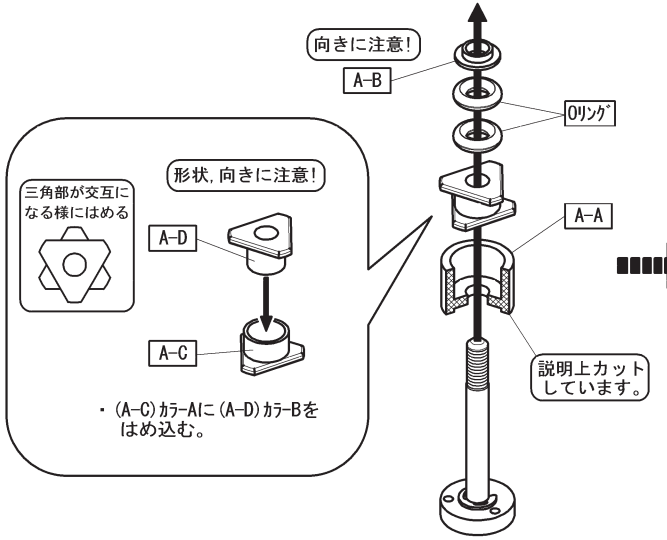


注意！ーランナーからパーツを切り離す際は、図の様に折り曲げ、もしくはニッパーなどで切り離して下さい。なお、パーツにバリなどが残ってしまった場合は、カッターなどで丁寧に切り落として下さい。
((A-部品)は主にダンパー内部で使用するパーツの為、バリなどは絶対に残さないで下さい。バリが残っているとダンパーがスムーズに動かなくなります。)

17 ダンパーの組立て（４本作ります。）

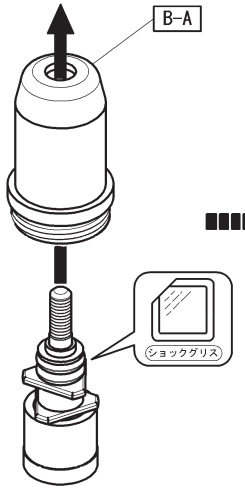


・（ｼｮｯｸｼｬﾌﾄ）に（2mmEﾘﾝｸﾞ），(A-3)
ﾋﾟｽﾄﾝを番号通りにはめ込む。

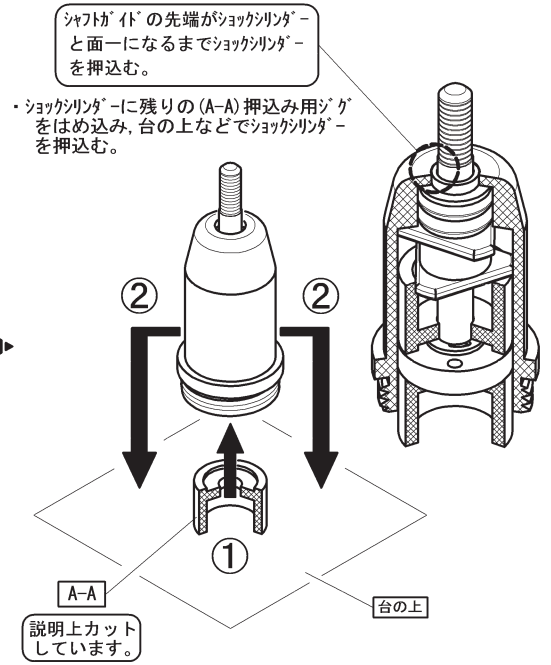


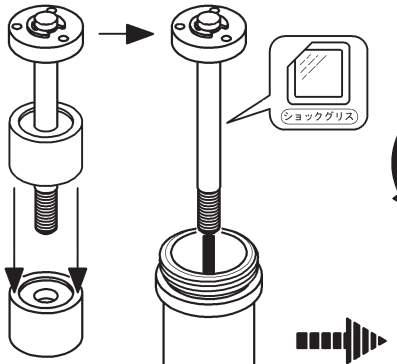
・(A-C)ｶﾗｰAに(A-D)ｶﾗｰBをはめ込む。

・ｼｮｯｸｼｬﾌﾄASSYに上記ﾊﾟｰﾂを通す。
（ﾊﾟｰﾂの向きに注意！）

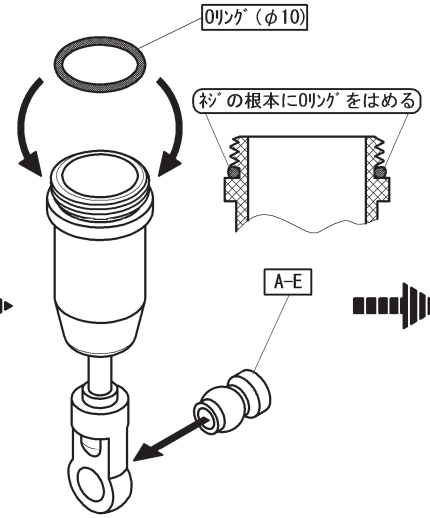


・Oﾘﾝｸﾞ周辺にｼｮｯｸｸﾞﾘｽを塗りｼｮｯｸｼﾘﾝﾀﾞｰの中にﾋﾟｽﾄﾝが隠れる位まで押込む。





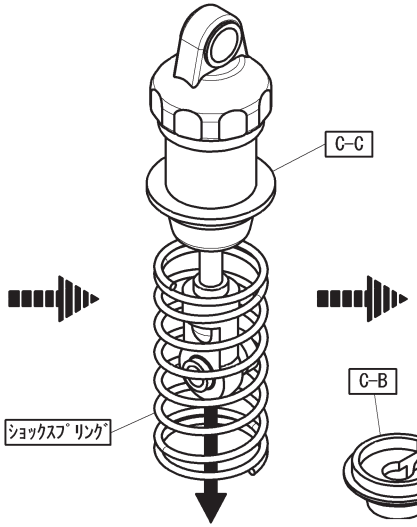
・ｼｮｯｸｼﾘﾝﾀﾞｰからｼｬﾌﾄASSY、(A-A)押込み用ｼﾞｸﾞを取出しｼｬﾌﾄ部にｼｮｯｸｸﾞﾘｽを薄く塗る。ｼｬﾌﾄASSYをｼｮｯｸｼﾘﾝﾀﾞｰに戻し(C-AL)ﾀﾞﾝﾊﾟｰｴﾝﾄﾞを取付ける。



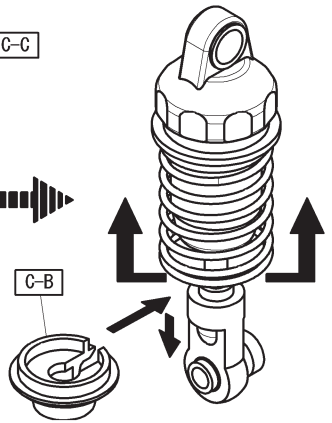
・(C-AL)ﾀﾞﾝﾊﾟｰｴﾝﾄﾞに(A-E)ｴﾝﾄﾞﾎﾞｰﾙ(大)をはめ込む。



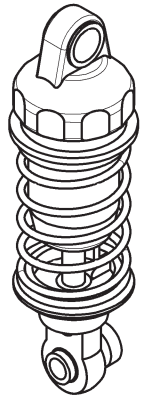
・ｼｮｯｸｷｬｯﾌﾟをｼｮｯｸｼﾘﾝﾀﾞｰにねじ込む。



・ｼｮｯｸｼﾘﾝﾀﾞｰに(C-C)ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞｶﾞｲﾄﾞｼｮｯｸｽﾌﾟﾘﾝｸﾞの順にはめていく。

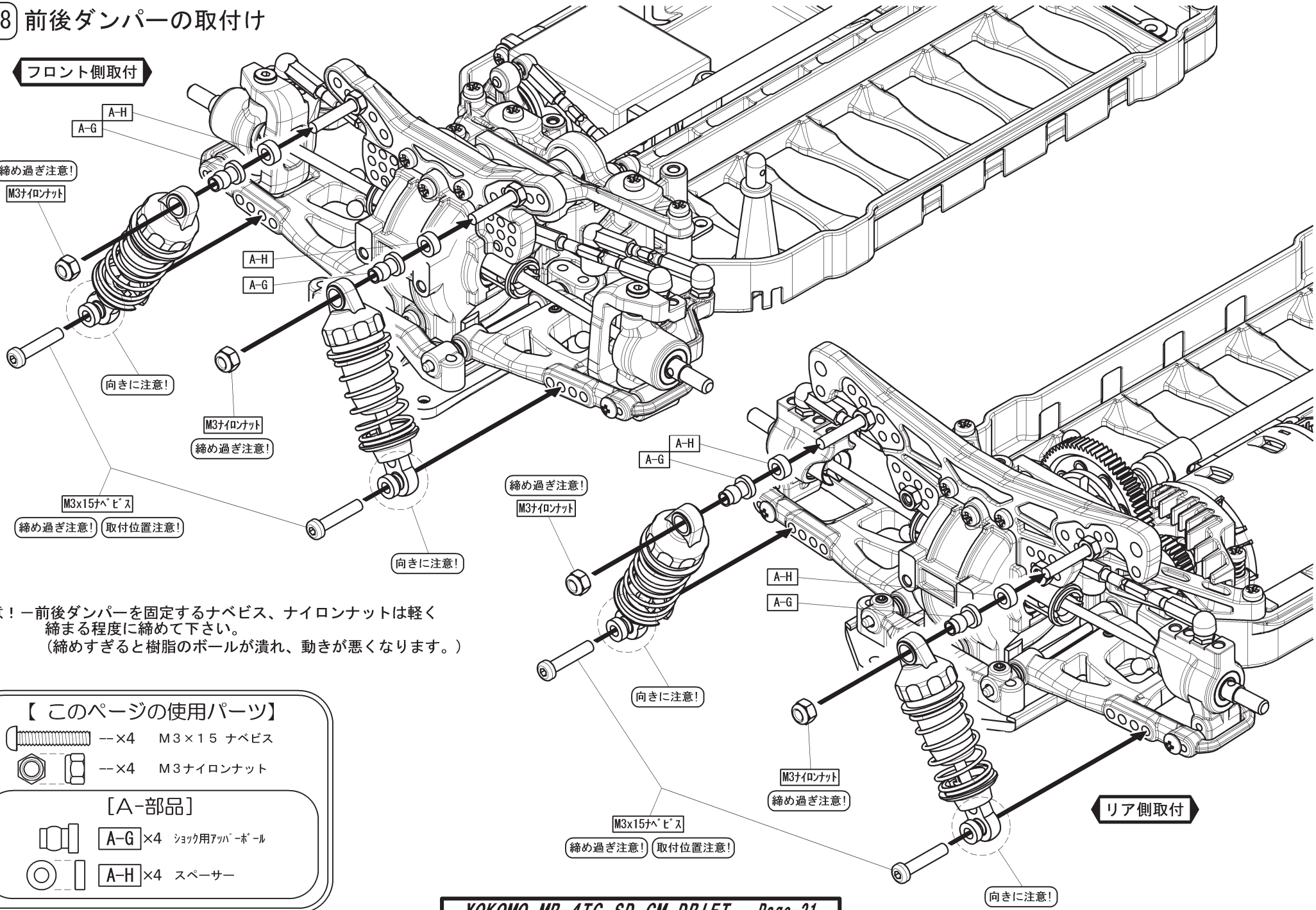


・ｼｮｯｸｽﾌﾟﾘﾝｸﾞを押上げながら(C-B)ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞｽﾄｯﾊﾟｰをｼｬﾌﾄにはめ込む。



ダンパーの完成！

18 前後ダンパーの取付け



注意！ー前後ダンパーを固定するナベビス、ナイロンナットは軽く
締まる程度に締めて下さい。
（締めすぎると樹脂のボールが潰れ、動きが悪くなります。）

【 このページの使用パーツ】

- --×4　M３×１５ ナベビス
- --×4　M３ナイロンナット

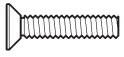
［A-部品］

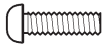
- A-G ×4　ｼｮｯｸ用ｱｯﾊﾟｰﾎﾞｰﾙ
- A-H ×4　スペーサー

【 袋ー⑬ の内容 】


--×2　M３×８皿ビス

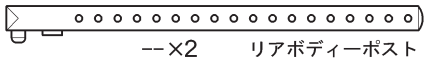

--×5　M３×１０皿ビス


--×2　M３×１５皿ビス

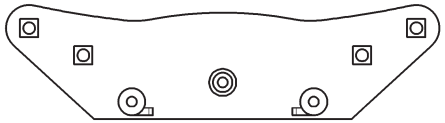

--×2　M３×１０ ナベビス

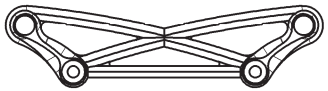

--×10　フードピン

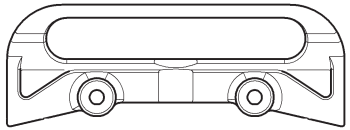

--×2　フロントボディーポスト

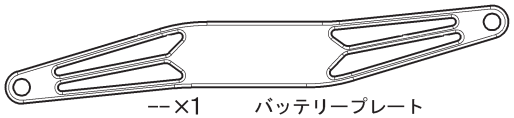

--×2　リアボディーポスト


--×4　ボディーマウントシーソー


--×1　フロントバンパー

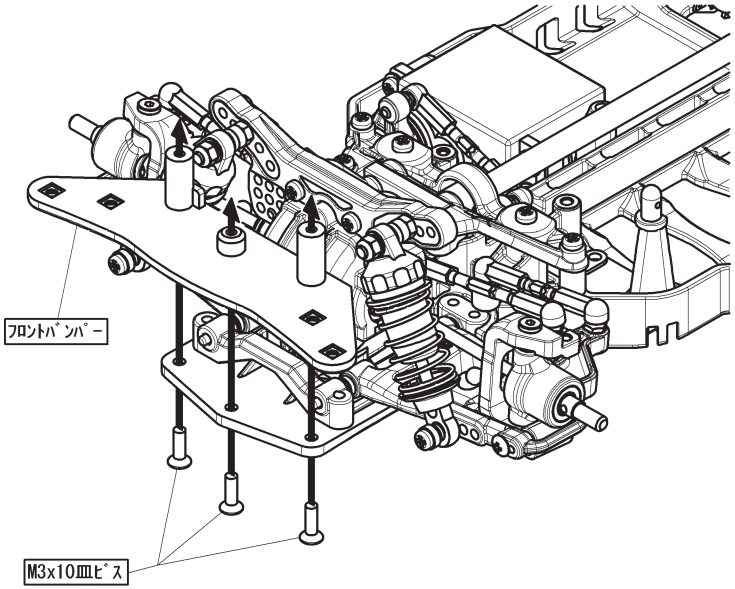

--×1　フロントバンパーサポート

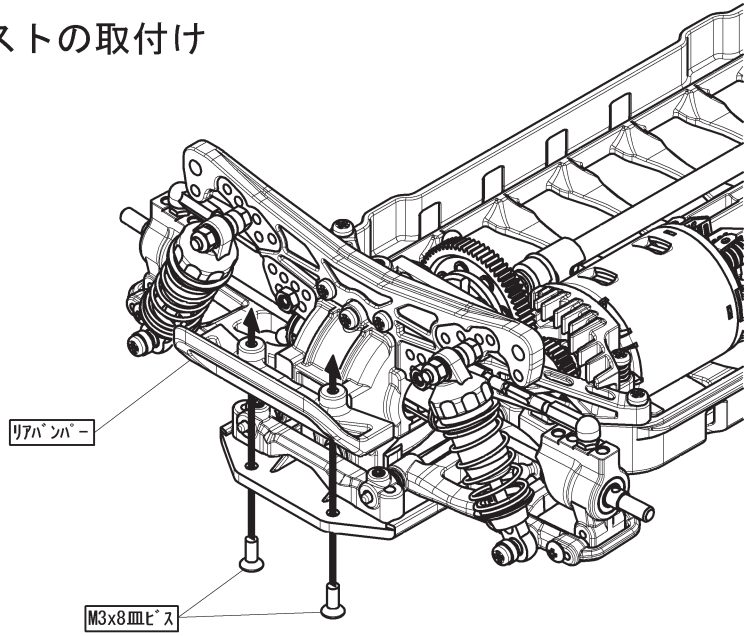

--×1　リアバンパー

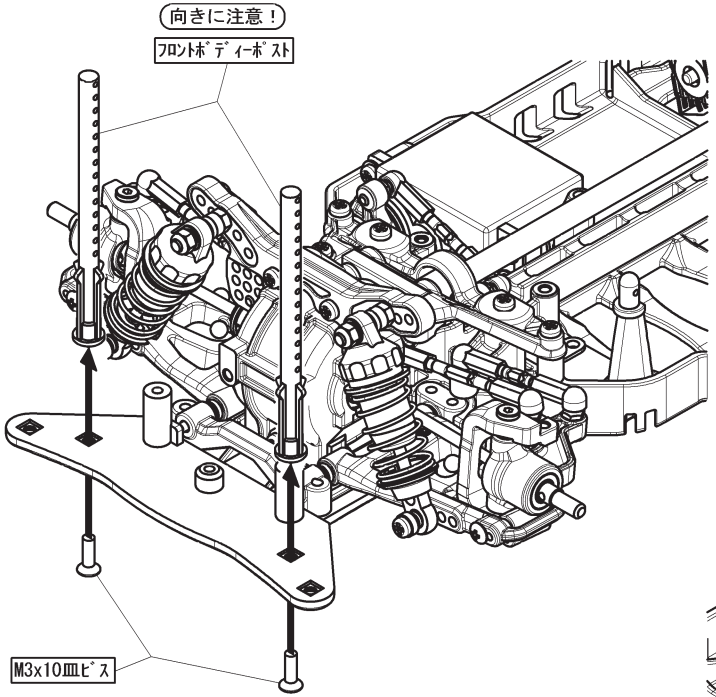

--×1　バッテリープレート

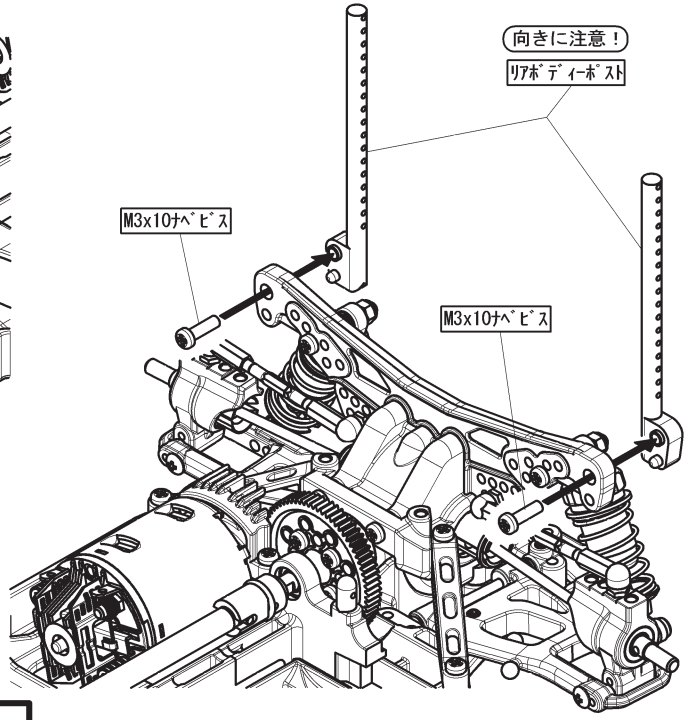
その他、アンテナキャップ、両面テープ
ハイト＆ドループゲージ 各１ヶ

19 フロント＆リアバンパー、ボディーポストの取付け

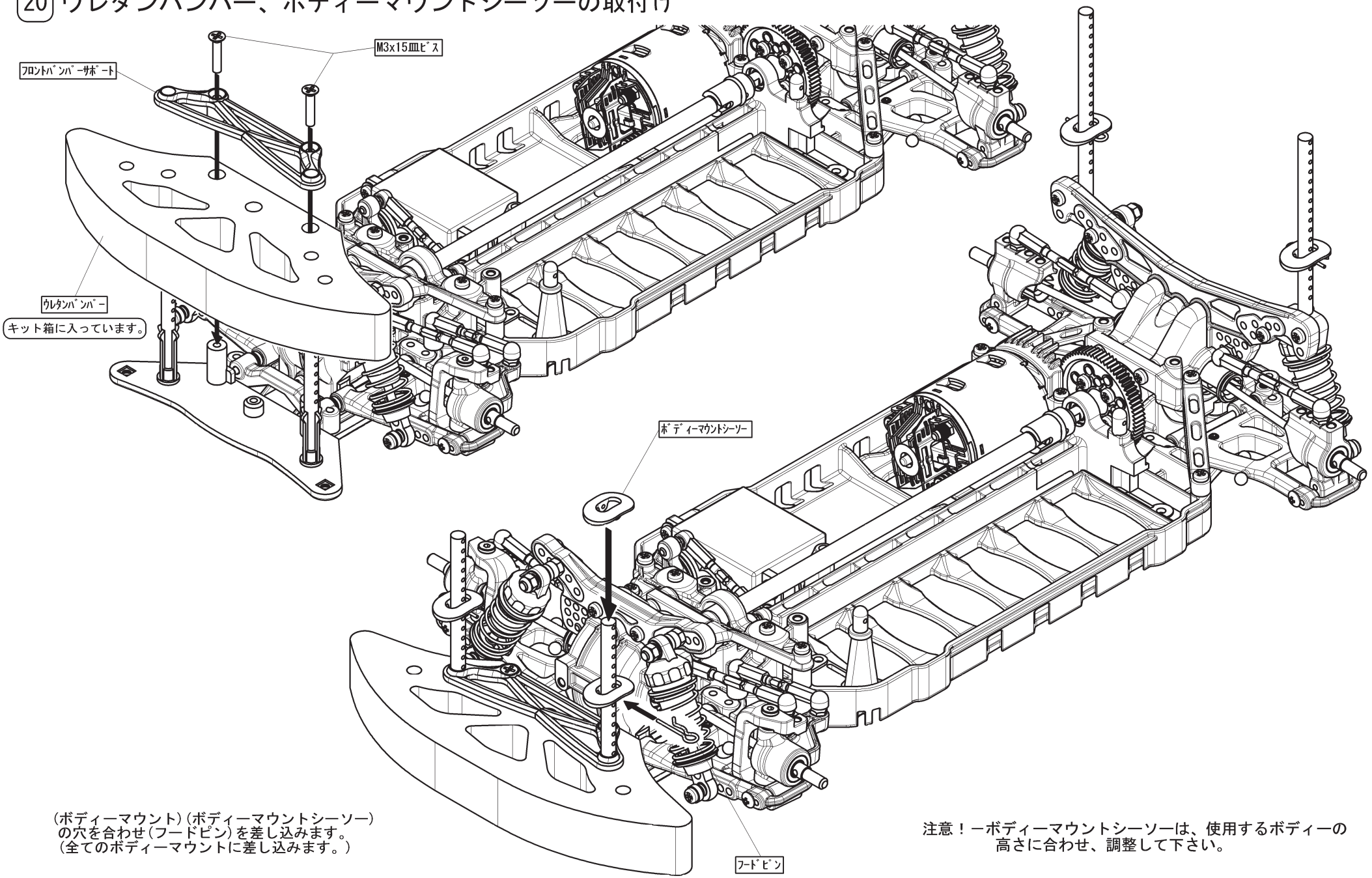








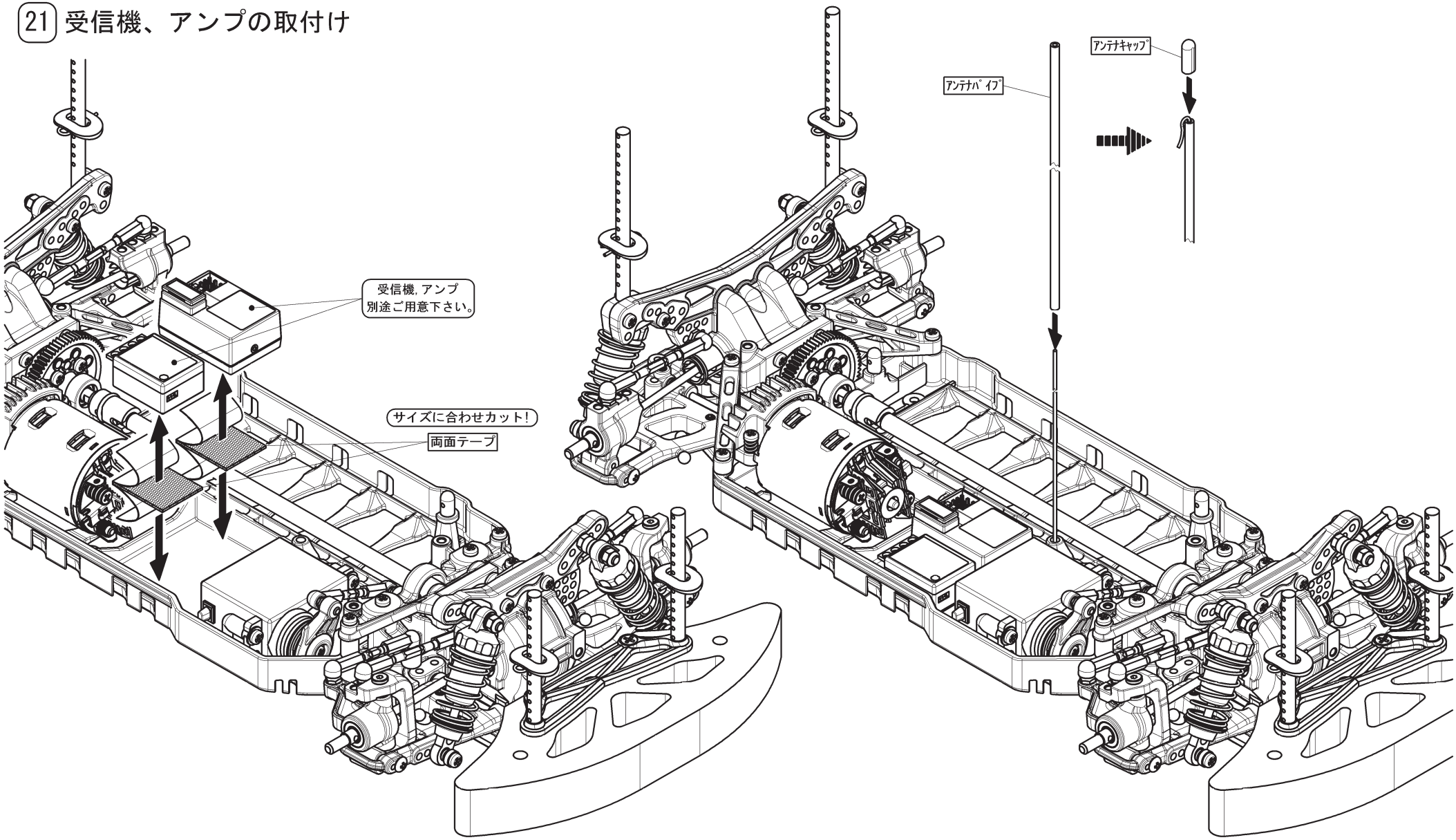
20 ウレタンバンパー、ボディーマウントシーソーの取付け



(ボディーマウント)(ボディーマウントシーソー)
の穴を合わせ(フードピン)を差し込みます。
(全てのボディーマウントに差し込みます。)

注意！ーボディーマウントシーソーは、使用するボディーの
高さに合わせ、調整して下さい。

21 受信機、アンプの取付け

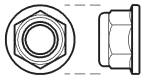


注意！①(受信機)(アンプ)の固定は付属の両面テープを使用し
シャーシにしっかりと固定して下さい。
(接着面をクリーナーなどで脱脂しておくと、はがれ
にくくなります。)

アンテナ腺をイラストのようにアンテナマウントから
アンテナパイプに通し、先端が２ｃｍ位出た所で
アンテナパイプをマウントへ深めに差込み、アンテナ
キャップを被せて下さい。

注意！②余ったアンテナ線はメインドライブシャフトなどの
稼動部分に触れない様に束ねて下さい。

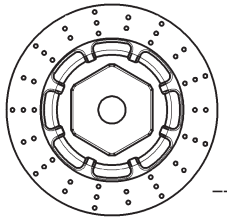
【 ホイル袋 の内容 】



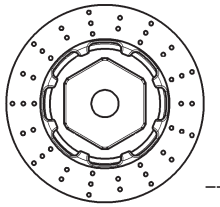
--×4
M4 ナイロンナット



--×4
ホイルハブピン



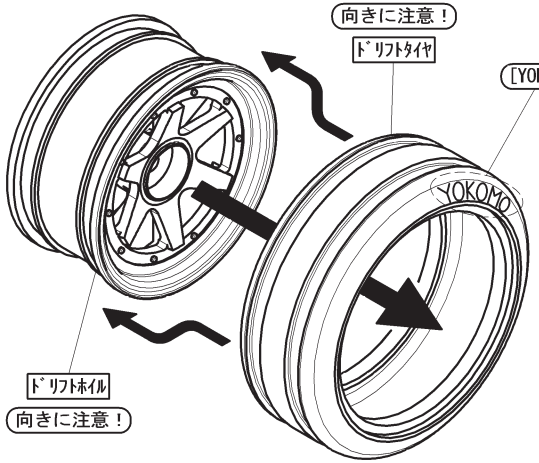
--×2
ディスクローター型フロントホイルハブ
（ディスク径-大）

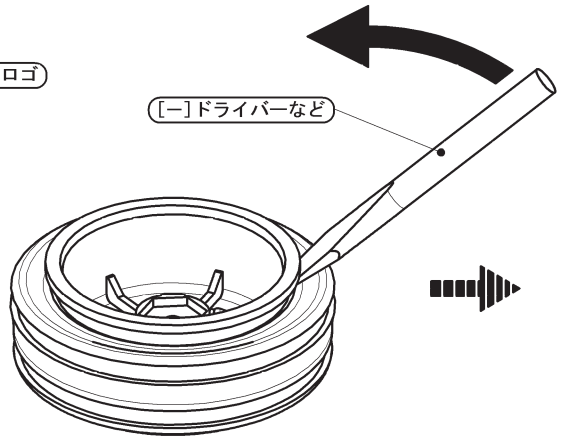


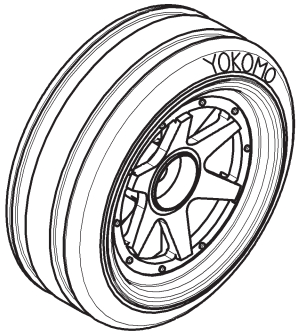
--×2
ディスクローター型リアホイルハブ
（ディスク径-小）

その他、ドリフト用ホイル４ヶ
ディスクローター用デカル１枚
（車種別キットによりスポーク形状が替わるため、
イラストのホイルとは異なる場合があります。）

22 タイヤの組立て（４本作ります。）



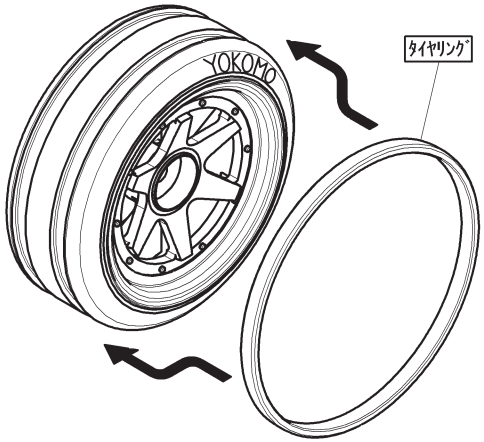




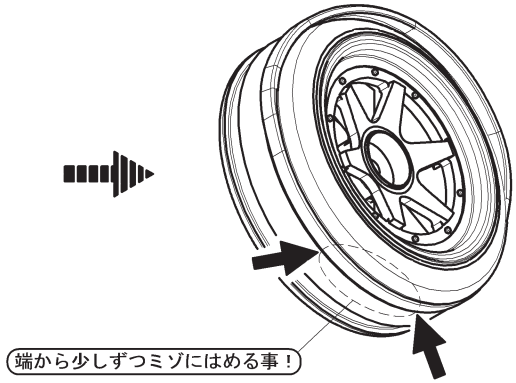
ホイルスポーク部とタイヤ[ＹＯＫＯＭＯ]ロゴの向きを確認し、ホイルにはめ込みます。
タイヤが最後まではめ込みづらい時は、右イラストのように(－)ドライバーなどを使用し
タイヤのリブを持上げながらホイルにはめ込んで下さい。
（あらかじめ、タイヤをお湯であたためておくと作業がしやすくなります。）

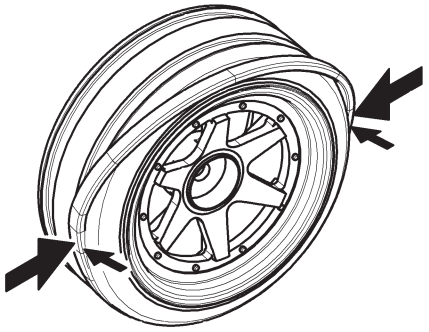
タイヤ全体をよくもみほぐし、
ホイルとなじませて下さい。

注意！①お湯を使用するときは、取扱いに十分ご注意下さい。（ヤケド等）
②右イラストのようにドライバーなどを使用する場合は、ホイルにキズ、又は
ワレが発生する事がありますので、少しずつ作業を行って下さい。



タイヤのミゾにタイヤリングをはめ込みます。







タイヤリングをタイヤミゾに合わせ、右イラストのようにリング両側を押しながら少しずつ
はめ込んでいきます。（片側のはめ込みができましたら、反対側も同様に行います。）
タイヤリングはめ込み後、全体をよくもみほぐし、タイヤとなじませて下さい。
（タイヤリングがはめ込みづらい時は、石けん水などをぬると作業がしやすくなります。）

ドリフトタイヤの完成！

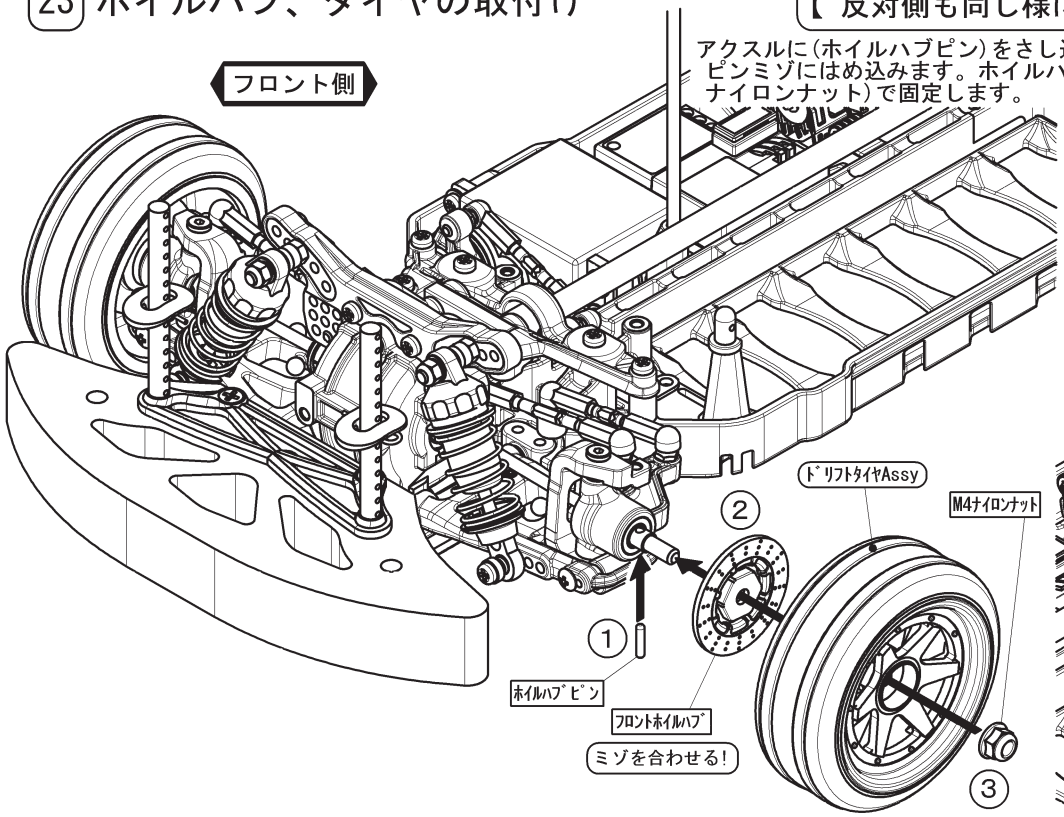
注意！③タイヤリングは絶対にあたためないで下さい。変形し元に戻らなくなります。
④無理な作業は思わぬケガ等をすることがありますので、ゆとりを持って組立を
行って下さい。

23 ホイルハブ、タイヤの取付け

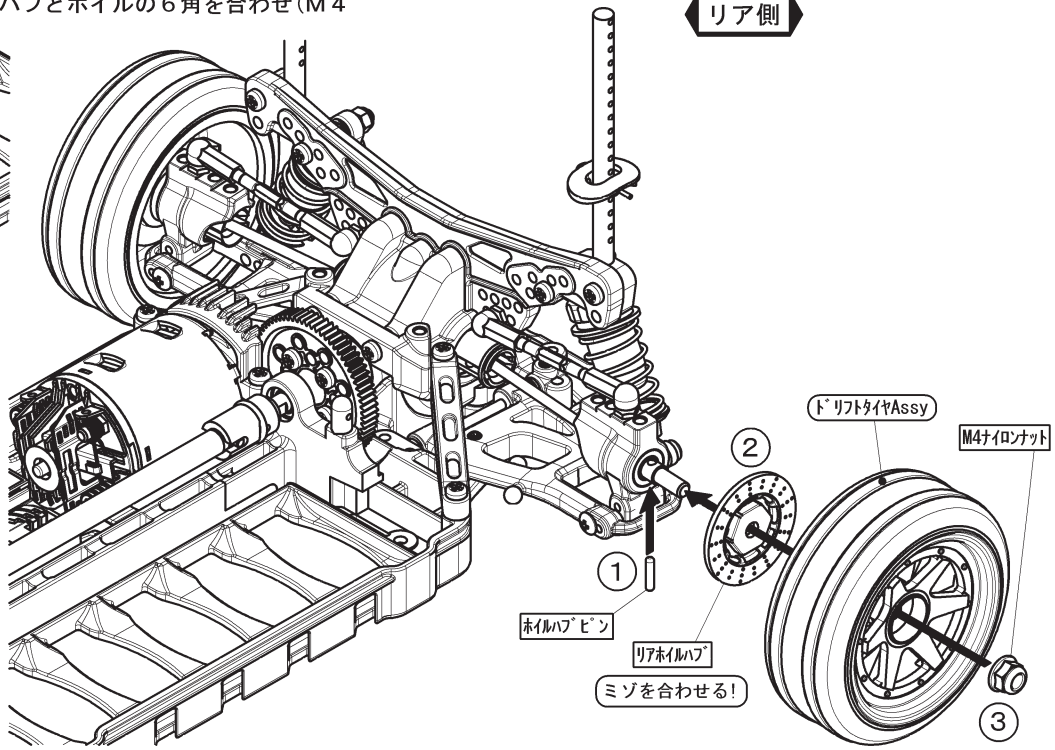
【 反対側も同じ様に固定します。】

アクスルに(ホイルハブピン)をさし込み、(ディスク型ホイルハブ)をピンミゾにはめ込みます。ホイルハブとホイルの６角を合わせ(Ｍ４ナイロンナット)で固定します。

フロント側

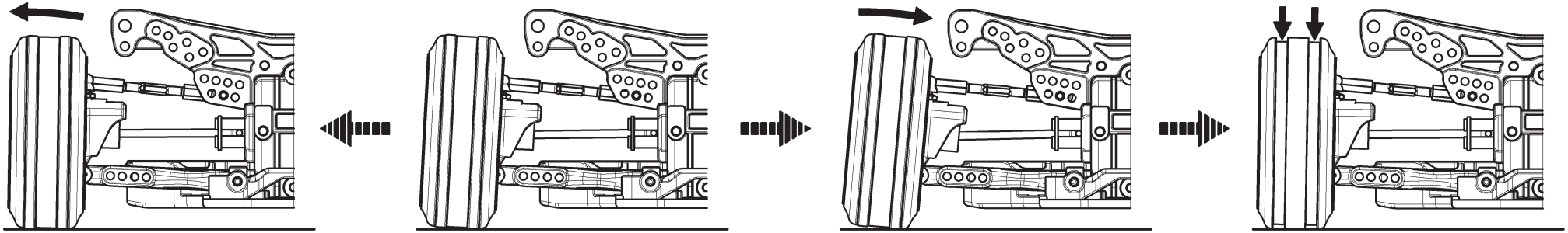


リア側



1ポイントアドバイス！ このタイヤは「キャンバー角変化」「リングの増減」により、お好みのグリップに調整することができます。

【 スベリやすい 】 ⟷ 【 スベリにくい 】



キャンバーを弱めることで、リングの接地面積が増え、グリップを下げることができます。

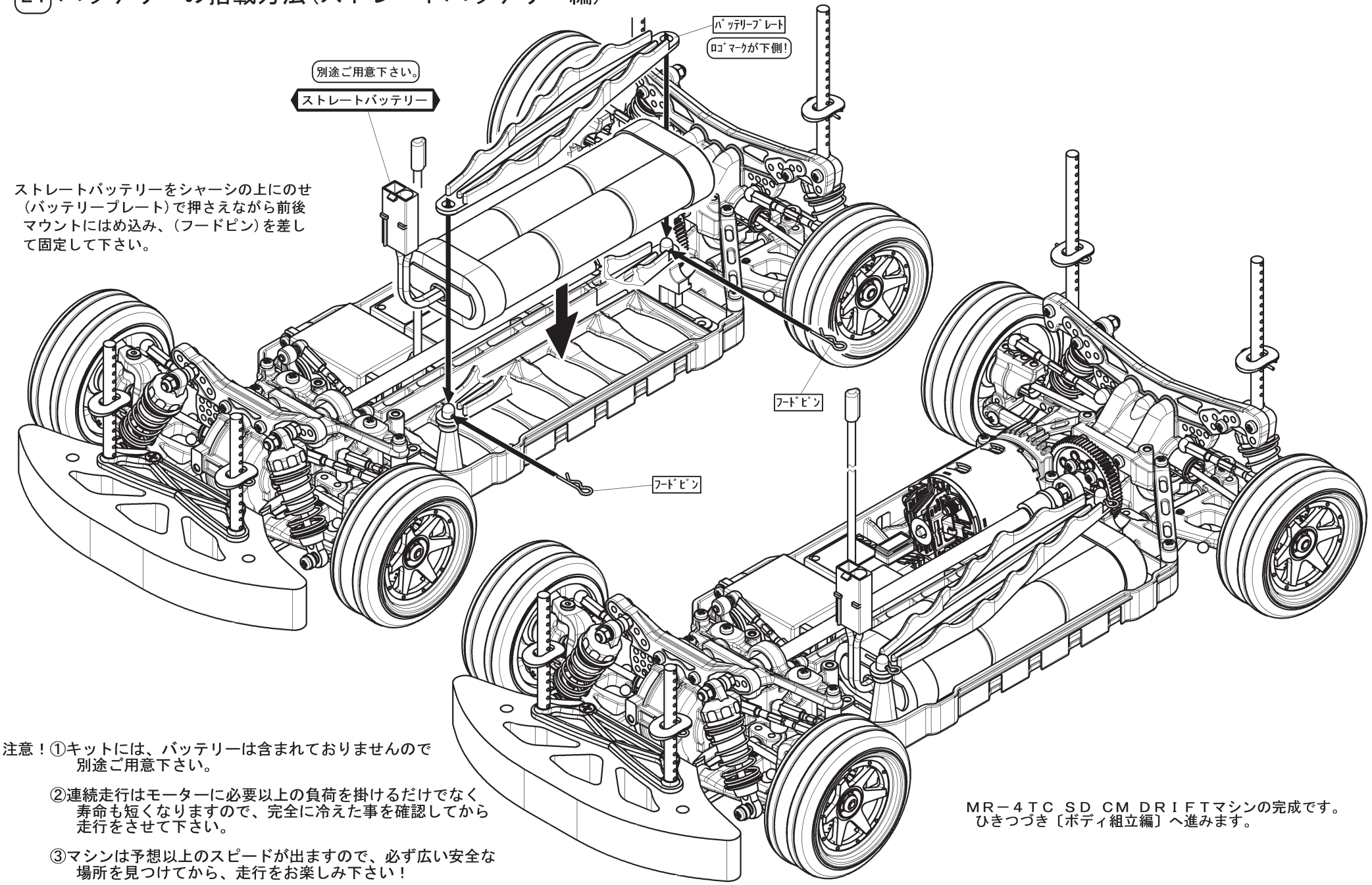
〈 標準状態 〉

キャンバーを強くすることで、タイヤ(ゴム)の接地面積が増え、グリップを上げることができます。

リングを外すことで、タイヤ(ゴム)の接地面積が増え、グリップを上げることができます。

※ イラストはリヤ側を表していますが、フロント側も同様に調整して下さい。
※ 走行場所に応じて、お好みの状態になるようフロント、リア共に調整を行って下さい。

24 バッテリーの搭載方法(ストレートバッテリー編)



ストレートバッテリーをシャーシの上にのせ(バッテリープレート)で押さえながら前後マウントにはめ込み、(フードピン)を差して固定して下さい。

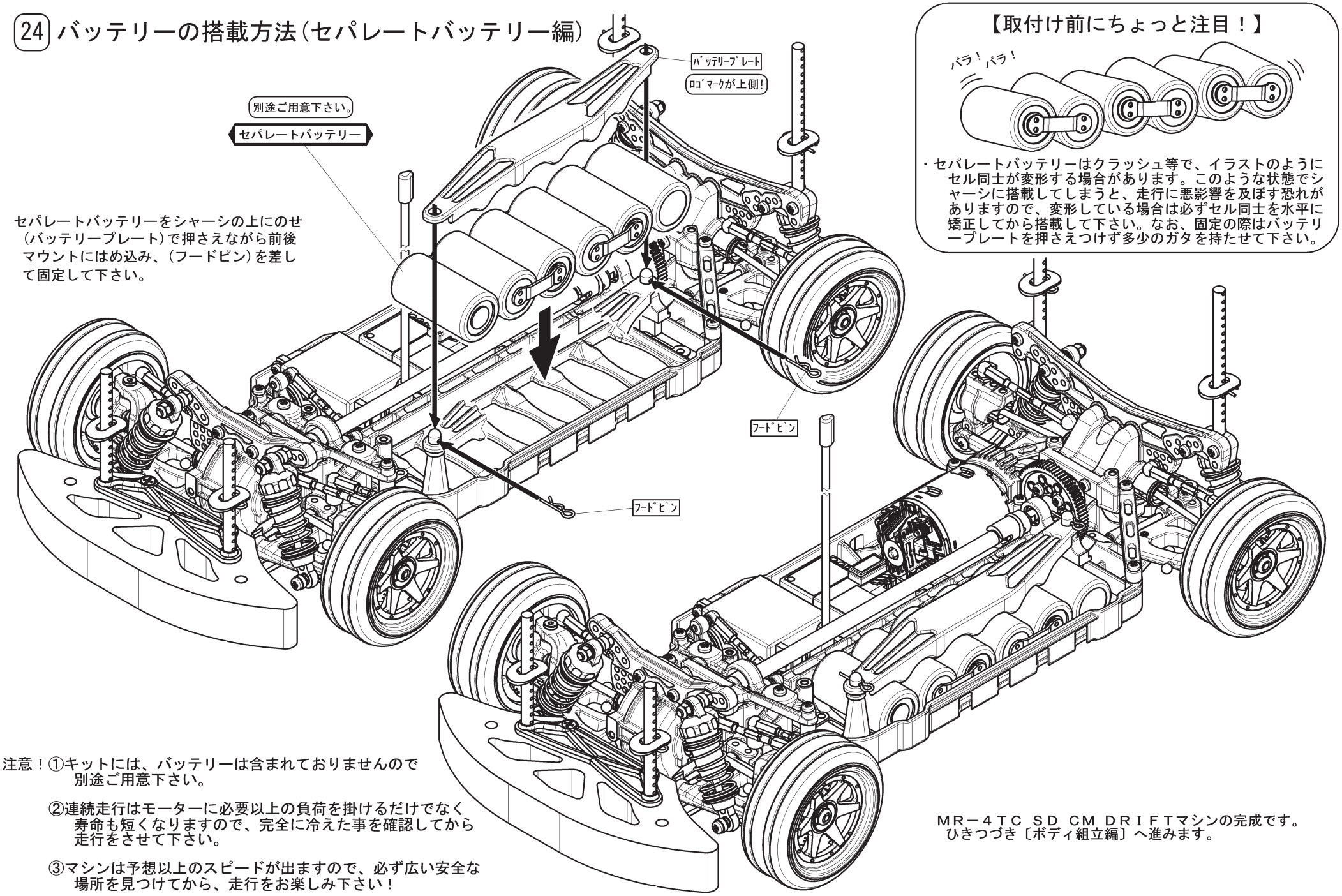
注意！①キットには、バッテリーは含まれておりませんので別途ご用意下さい。

②連続走行はモーターに必要以上の負荷を掛けるだけでなく寿命も短くなりますので、完全に冷えた事を確認してから走行をさせて下さい。

③マシンは予想以上のスピードが出ますので、必ず広い安全な場所を見つけてから、走行をお楽しみ下さい！

ＭＲ－４ＴＣ ＳＤ ＣＭ ＤＲＩＦＴマシンの完成です。
ひきつづき〔ボディ組立編〕へ進みます。

24 バッテリーの搭載方法（セパレートバッテリー編）



セパレートバッテリーをシャーシの上にのせ（バッテリープレート）で押さえながら前後マウントにはめ込み、（フードピン）を差して固定して下さい。

【取付け前にちょっと注目！】

・セパレートバッテリーはクラッシュ等で、イラストのようにセル同士が変形する場合があります。このような状態でシャーシに搭載してしまうと、走行に悪影響を及ぼす恐れがありますので、変形している場合は必ずセル同士を水平に矯正してから搭載して下さい。なお、固定の際はバッテリープレートを押さえつけず多少のガタを持たせて下さい。

注意！①キットには、バッテリーは含まれておりませんので別途ご用意下さい。

②連続走行はモーターに必要以上の負荷を掛けるだけでなく寿命も短くなりますので、完全に冷えた事を確認してから走行をさせて下さい。

③マシンは予想以上のスピードが出ますので、必ず広い安全な場所を見つけてから、走行をお楽しみ下さい！

ＭＲ－４ＴＣ ＳＤ ＣＭ ＤＲＩＦＴマシンの完成です。
ひきつづき〔ボディ組立編〕へ進みます。

MR-4TC SD CGM SETTING SHEET Ver.7

DRIVER

DATE

CIRCUIT

環境 ➡□ インドア ➡□ アウトドア
路面 ➡□ アスファルト ➡□ コンクリート ➡□ カーペット
グリップ ➡□ 高い ➡□ 普通
路面状況 ➡□ フラット ➡□ バンピー

FRONT

駆動系 ➡□ ワンウェイ
➡□ ボールデフ
➡□ ソリッド

スタビライザー ➡□ 無し
➡□ アッパー
➡□ ロア
➡_____

ステアリングブロック トレール
➡_____ mm

ハブキャリア ➡_____ 度

キャンバー角 ➡_____ 度

トー角 ➡_____ 度

サスマウント スキッド角
➡_____ 度

サスマウント ハイトスペーサー
（前側後側共に）➡_____ mm

ダイヤフラム ➡□ _____
エアレーション ➡□

ショックボディ ➡□ SSS
➡□ SS

ショックエンド ➡□ ロング
➡□ ショート
➡□ アソシ

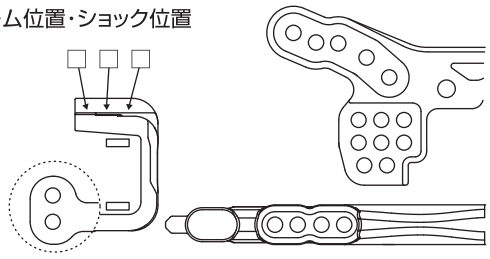
全長 ➡_____ mm

スプリング ➡_____

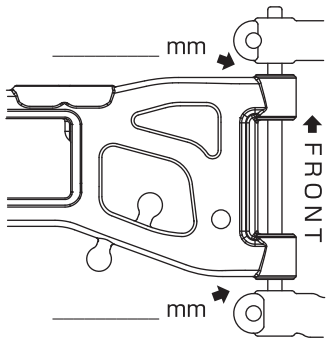
オイル ➡_____

ピストン ➡_____

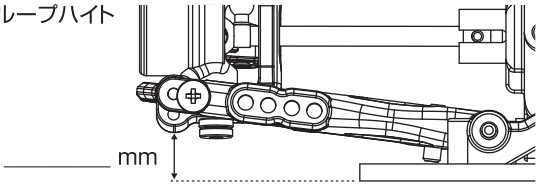
“I” アーム位置・ショック位置



ロアサスアーム位置



ドループハイト



REAR

スタビライザー ➡□ 無し
➡□ アッパー
➡□ ロア
➡_____

ハブキャリア ➡_____ 度

キャンバー角 ➡_____ 度

サスマウント（トー角）
➡□ 1度
➡□ 2度
➡□ 3度

サスマウント スキッド角
➡_____ 度

サスマウント ハイトスペーサー
（前側後側共に）➡_____ mm

ダイヤフラム ➡□ _____
エアレーション ➡□

ショックボディ ➡□ SSS
➡□ SS

ショックエンド ➡□ ロング
➡□ ショート
➡□ アソシ

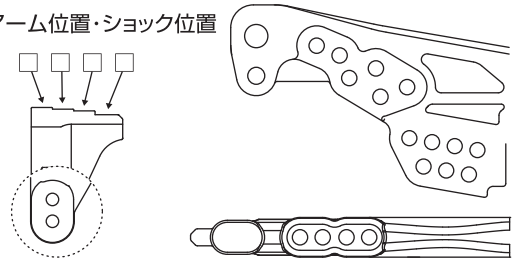
全長 ➡_____ mm

スプリング ➡_____

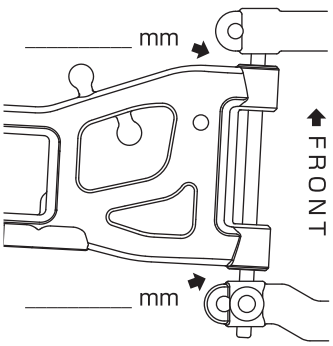
オイル ➡_____

ピストン ➡_____

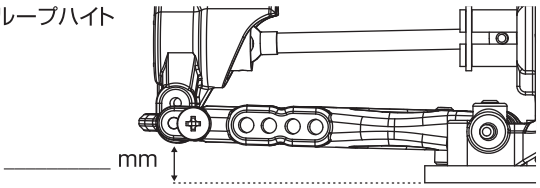
“I” アーム位置・ショック位置



ロアサスアーム位置



ドループハイト



OTHER

タイヤ ➡ _____

インナー ➡ _____

ホイール ➡ _____

トラクション剤 ➡□ 無し
➡□ _____

スパーギヤ ➡_____ピッチ _____T

ピニオンギヤ ➡_____ピッチ _____T

ギヤ比 ➡_____ : 1
＝スパーギヤ÷ピニオンギヤ×2.35（二次減速比）

車高 ➡F ____ mm
➡R ____ mm

モーター ➡_____

バッテリー ➡_____

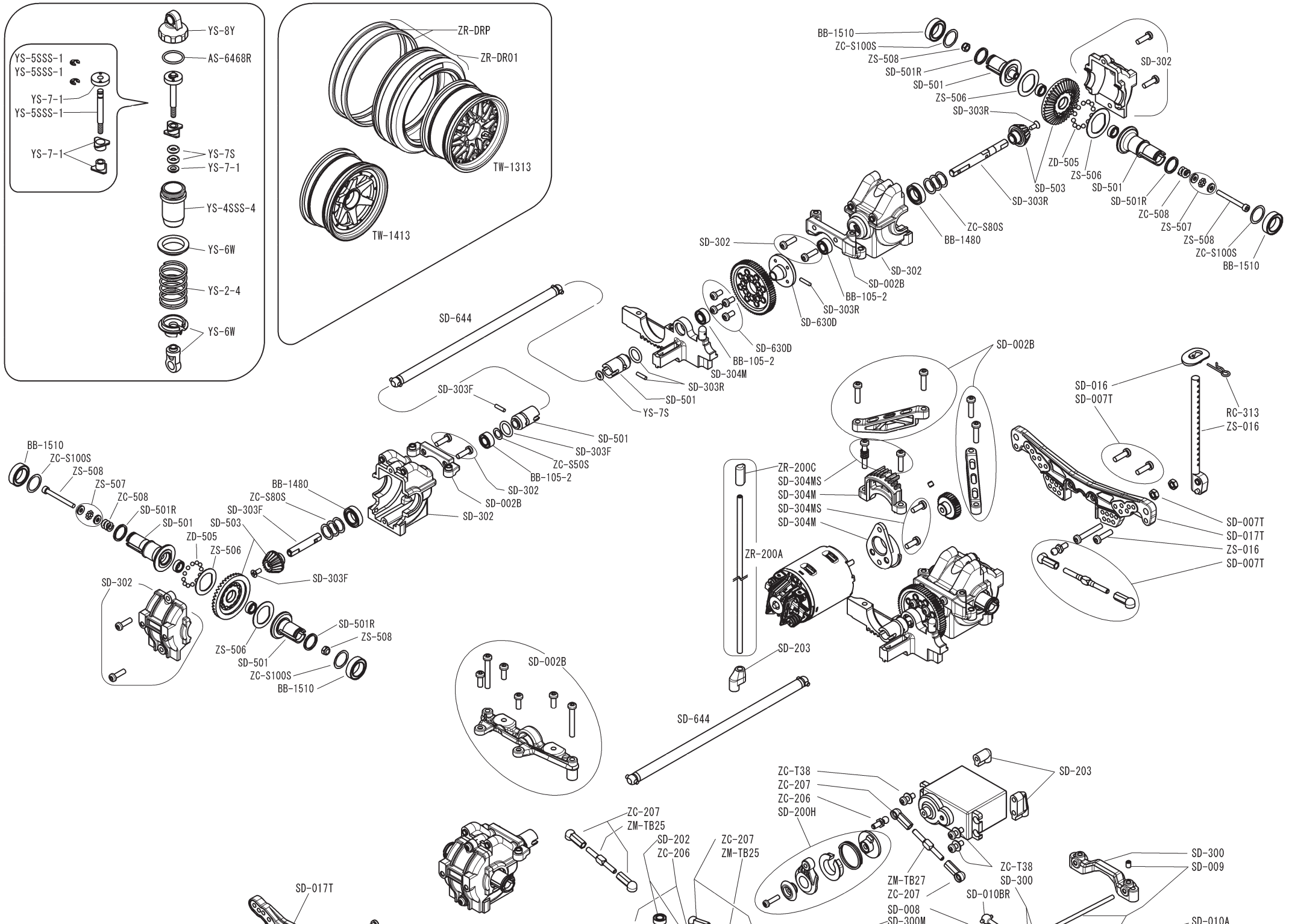
ESC ➡_____

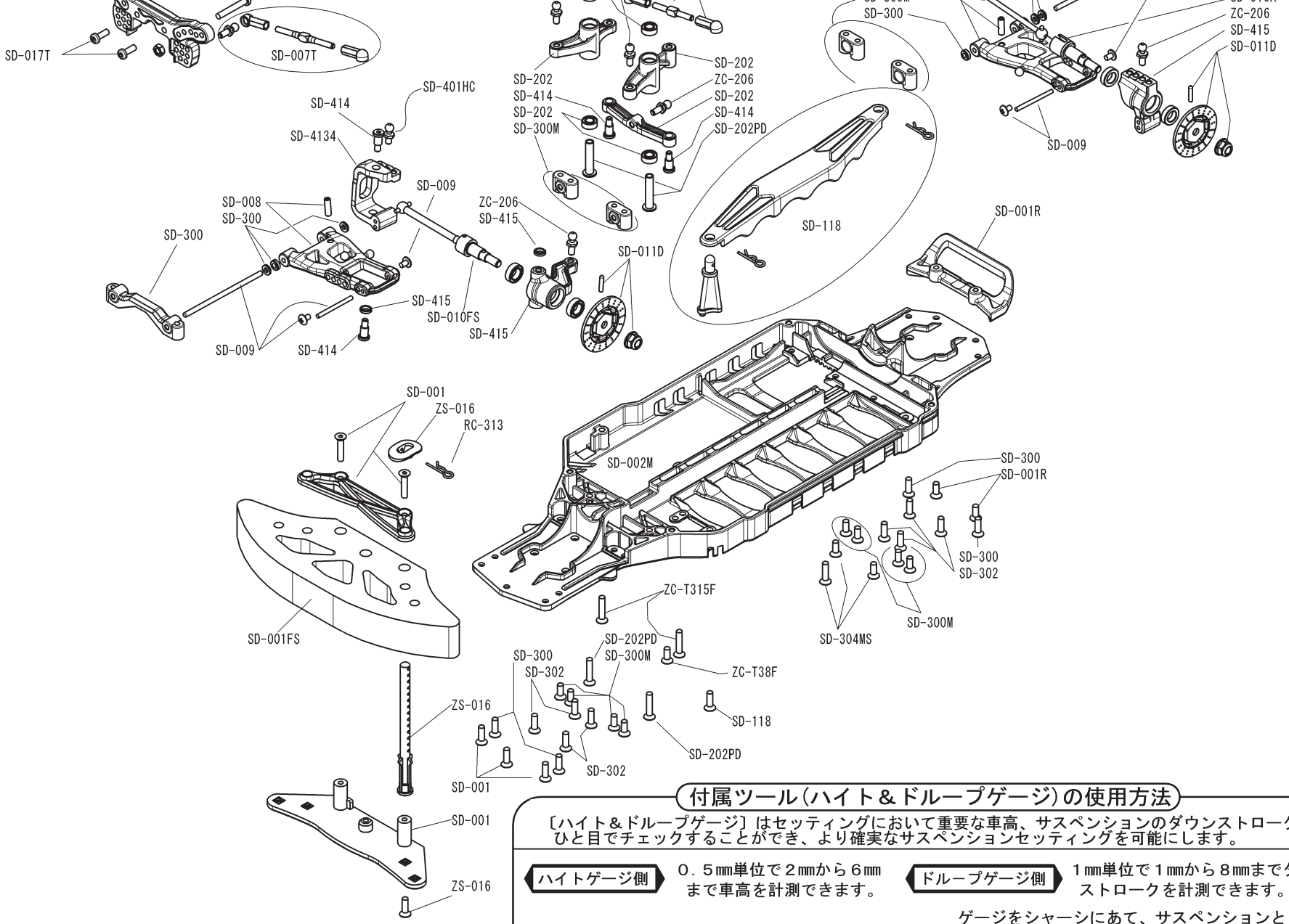
フロント ボディマウント ポジション
➡□ 内側
➡□ 外側

ボディ ➡_____

ウィング ➡_____

COMMENT


YS-8Y
AS-6468R
YS-5SSS-1
YS-5SSS-1
YS-7-1
YS-5SSS-1
YS-7-1
YS-7S
YS-7-1
YS-4SSS-4
YS-6W
YS-2-4
YS-6W
ZR-DRP
ZR-DR01
TW-1313
TW-1413
BB-1510
ZC-S100S
ZS-508
SD-501R
SD-501
ZS-506
SD-303R
SD-302
ZD-505
ZS-506
SD-503
SD-303R
SD-501
SD-501R
ZC-508
ZS-507
ZS-508
ZC-S100S
BB-1510
ZC-S80S
BB-1480
SD-302
SD-002B
BB-105-2
SD-303R
SD-630D
SD-644
SD-630D
BB-105-2
SD-304M
SD-303R
SD-501
YS-7S
SD-303F
SD-501
SD-303F
ZC-S50S
BB-105-2
SD-302
SD-002B
SD-302
BB-1510
ZC-S100S
ZS-508
ZS-507
ZC-508
SD-501R
SD-501
ZD-505
ZS-506
SD-503
SD-303F
BB-1480
ZC-S80S
SD-303F
SD-302
ZS-506
SD-501
ZC-S100S
BB-1510
SD-501R
ZS-508
SD-002B
ZR-200C
SD-304MS
SD-304M
SD-304MS
SD-304M
ZR-200A
SD-002B
SD-016
SD-007T
RC-313
ZS-016
SD-007T
SD-017T
ZS-016
SD-007T
SD-203
SD-644
ZC-T38
ZC-207
ZC-206
SD-200H
SD-203
ZC-207
ZM-TB25
SD-202
ZC-206
ZC-207
ZM-TB25
ZC-T38
ZM-TB27
ZC-207
SD-300
SD-010BR
SD-008
SD-300M
SD-300
SD-009
SD-017T
SD-010A



アレンキー　1.5mm

アレンキー　2.0mm

ジョイント用グリス
ショック用グリス

ターンバックルレンチ

十字レンチ

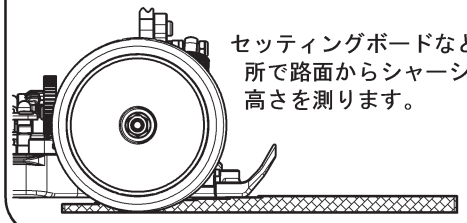
ハイト&ドループゲージ

付属ツール（ハイト＆ドループゲージ）の使用方法

〔ハイト＆ドループゲージ〕はセッティングにおいて重要な車高、サスペンションのダウンストロークをひと目でチェックすることができ、より確実なサスペンションセッティングを可能にします。

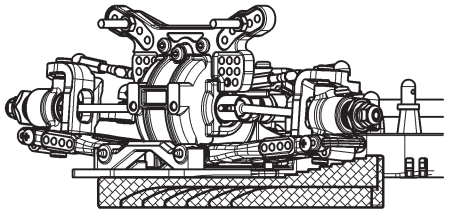
ハイトゲージ側　０．５㎜単位で２㎜から６㎜まで車高を計測できます。

セッティングボードなど平らな所で路面からシャーシまでの高さを測ります。



ドループゲージ側　１㎜単位で１㎜から８㎜までダウンストロークを計測できます。

ゲージをシャーシにあて、サスペンションとゲージが接する部分で計測します。



As a manufacturer of World Championship winning cars,

Yokomo will continue to provide the best available technology to R/C enthusiasts all over the world.
Enjoy this product knowing that you are driving one of the best handling R/C cars ever designed.

YOKOMO

World Champions YOKOMO

世界のブランド YOKOMO
ヨコモは競技用 R/C カー（ラジオコントロールカー）の専門メーカーです。その製品は、全日本選手権、全米選手権、ヨーロッパ選手権、そして R/C カーレースの最高峰である世界選手権レースでも優勝。世界中の R/C カーマニアに愛用されています。

株式会社 ヨコモ　〒 120-0005　東京都足立区綾瀬 5-23-7　http://www.teamyokomo.com
TEL 03-5613-7553　FAX 03-5613-7552　営業時間：9 時～ 12 時 13 時～ 17 時（祝祭日を除く月～金）